

結果の概要

I 人口

1 全国の人口

我が国の人口は、平成27年10月1日現在で1億2,709万4,745人であり、前回調査の平成22年と比較して、96万2,607人(0.75%)減少しました。大正9年の調査開始以来、初めての減少となりました。

男女別人口は、男性が6,184万1,738人、女性が6,525万3,007人で、女性が男性を341万1,269人上回っており、人口性比(女性100人に対する男性の数)は、94.8となりました。

平成27年10月1日現在の境域で、市町村別の人口を平成22年と比較すると、人口が増加したのは300市町村(全体の17.5%)で、東京都特別区部や政令指定都市及びその周辺市町村を中心に、人口が増加しました。一方、人口が減少したのは1,419市町村(82.5%)となりました。

2 青森県の人口の状況

青森県の人口は、平成27年10月1日現在で130万8,265人であり、前回調査の平成22年と比較して、65,074人(4.7%)減少しました。

男女別人口は、男性が614,694人、女性が693,571人で、女性が男性を78,877人上回っており、人口性比は、88.6となりました。

県内の市町村別の人口をみると、平成22年と比較して増加した市町村は、六戸町(1.8%)、おいらせ町(0.0%)で、他の市町村では減少しました。減少率が最も高いのは、風間浦村(△19.8%)で、次いで大間町(△17.6%)となっています。

3 当市の人口の状況

当市の人口は、平成27年10月1日現在で231,257人であり、平成22年と比較して、6,358人(2.7%)減少しました。平成12年の調査以来、人口減少が続いています。

男女別人口は、男性が110,493人、女性が120,764人で、女性が男性を3,913人上回っています。平成22年と比較して、男性は2,847人(2.5%)減少、女性は3,511人(2.8%)減少し、人口性比は、91.5となりました。

人口密度は、市域305.54k m²に対して、1k m²当たり756.9人で、平成22年と比較して21.1人減少しました。また、人口集中地区(47.65k m²)の人口密度は、1k m²当たり3,275人で148.2人減少しました。

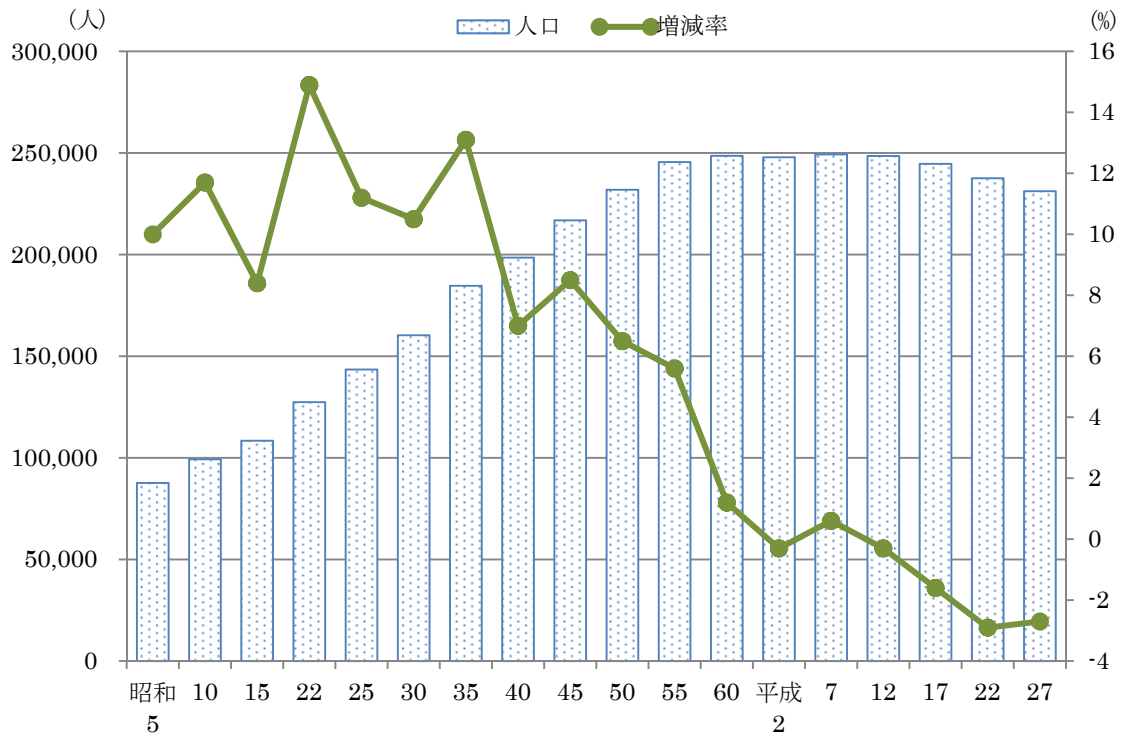
4 当市の人口の推移

当市の人口は、市制施行直後の昭和5年から60年まで増加を続け、特に昭和15年から35年にかけて周辺地域の合併や、市政の進展と共に大幅な増加を示しましたが、昭和45年以降は徐々に増減率が縮小していききました。そして、平成2年には人口が708人減少し、増減率が-0.3%と初めてマイナスを示しました。

平成7年には、1,375人増加し、増減率が0.6%とプラスに転じたものの、再度減少し、平成12年調査では750人、平成17年調査では3,908人、平成22年調査では7,085人、今回の平成27年調査では6,358人の減少となり、増減率は-2.7%となりました。

男女別の人口推移をみると、男性は、平成2年に増減率が-0.3%となり、平成7年には一時増加しましたが、平成12年以降は再び減少が続いています。女性は、平成12年に増減率が-0.3%となってから減少が続いています。

八戸市の人口と増減率の推移



国勢調査による人口の推移

年次	人口			対前回国勢調査						人口性比 (女=100)
	総数	男	女	総数		男		女		
				増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率	
昭和 5	87,724	43,453	44,271	-	-	-	-	-	-	98.2
10	99,322	49,625	49,697	11,598	11.7	6,172	12.4	5,426	10.9	99.9
15	108,450	54,934	53,516	9,128	8.4	5,309	9.7	3,819	7.1	102.6
22	127,469	62,602	64,867	19,019	14.9	7,668	12.2	11,351	17.5	96.5
25	143,489	72,238	71,251	16,020	11.2	9,636	13.3	6,384	9.0	101.4
30	160,412	78,719	81,693	16,923	10.5	6,481	8.2	10,442	12.8	96.4
35	184,680	92,839	91,841	24,268	13.1	14,120	15.2	10,148	11.0	101.1
40	198,602	98,413	100,189	13,922	7.0	5,574	5.7	8,348	8.3	98.2
45	216,955	106,374	110,581	18,353	8.5	7,961	7.5	10,392	9.4	96.2
50	231,945	113,413	118,532	14,990	6.5	7,039	6.2	7,951	6.7	95.7
55	245,617	120,304	125,313	13,672	5.6	6,891	5.7	6,781	5.4	96.0
60	248,691	121,007	127,684	3,074	1.2	703	0.6	2,371	1.9	94.8
平成 2	247,983	119,935	128,048	△ 708	△ 0.3	△ 1,072	△ 0.9	364	0.3	93.7
7	249,358	120,502	128,856	1,375	0.6	567	0.5	808	0.6	93.5
12	248,608	120,165	128,443	△ 750	△ 0.3	△ 337	△ 0.3	△ 413	△ 0.3	93.6
17	244,700	117,446	127,254	△ 3,908	△ 1.6	△ 2,719	△ 2.3	△ 1,189	△ 0.9	92.3
22	237,615	113,340	124,275	△ 7,085	△ 2.9	△ 4,106	△ 3.5	△ 2,979	△ 2.3	91.2
27	231,257	110,493	120,764	△ 6,358	△ 2.7	△ 2,847	△ 2.5	△ 3,511	△ 2.8	91.5

5 人口規模

県内における当市の人口規模は、青森市の 287,648 人(4.0%減)に次いで第 2 位(順位の変動なし)であり、以下、市部では、弘前市 177,411 人(3.3%減)、十和田市 63,429 人(4.1%減)、むつ市、五所川原市、三沢市、黒石市、つがる市、平川市の順です。

東北地方での人口規模は、仙台市 1,082,159 人(3.5%増)、いわき市 350,237 人(2.3%増)、郡山市 335,444 人(1.0%減)、秋田市 315,814 人(2.4%減)、盛岡市 297,631 人(0.2%減)、福島市 294,247 人(0.6%増)、青森市 287,648 人(4.0%減)、山形市 253,832 人(0.2%減)に次いで、当市は全 76 都市※のうち第 9 位(順位の変動なし)となっています。

また、全国では、東京都特別区部を含む市部 791 都市※のうち第 100 位(3 位ダウン)です。

※平成 27 年 10 月 1 日現在

青森県内市部における人口規模

順位		市	平成27年人口			平成22年 人口(組替)	増減(平成27年-平成22年)	
東北	全国		総数	男	女		実数	率(%)
7	76	青森市	287,648	133,560	154,088	299,520	△ 11,872	△ 4.0
9	100	八戸市	231,257	110,493	120,764	237,615	△ 6,358	△ 2.7
10	131	弘前市	177,411	81,367	96,044	183,473	△ 6,062	△ 3.3
30	416	十和田市	63,429	30,084	33,345	66,110	△ 2,681	△ 4.1
35	448	むつ市	58,493	28,057	30,436	61,066	△ 2,573	△ 4.2
40	477	五所川原市	55,181	24,979	30,202	58,421	△ 3,240	△ 5.5
49	620	三沢市	40,196	19,852	20,344	41,258	△ 1,062	△ 2.6
60	688	黒石市	34,284	15,834	18,450	36,132	△ 1,848	△ 5.1
62	709	つがる市	33,316	15,547	17,769	37,243	△ 3,927	△ 10.5
66	725	平川市	32,106	14,876	17,230	33,764	△ 1,658	△ 4.9

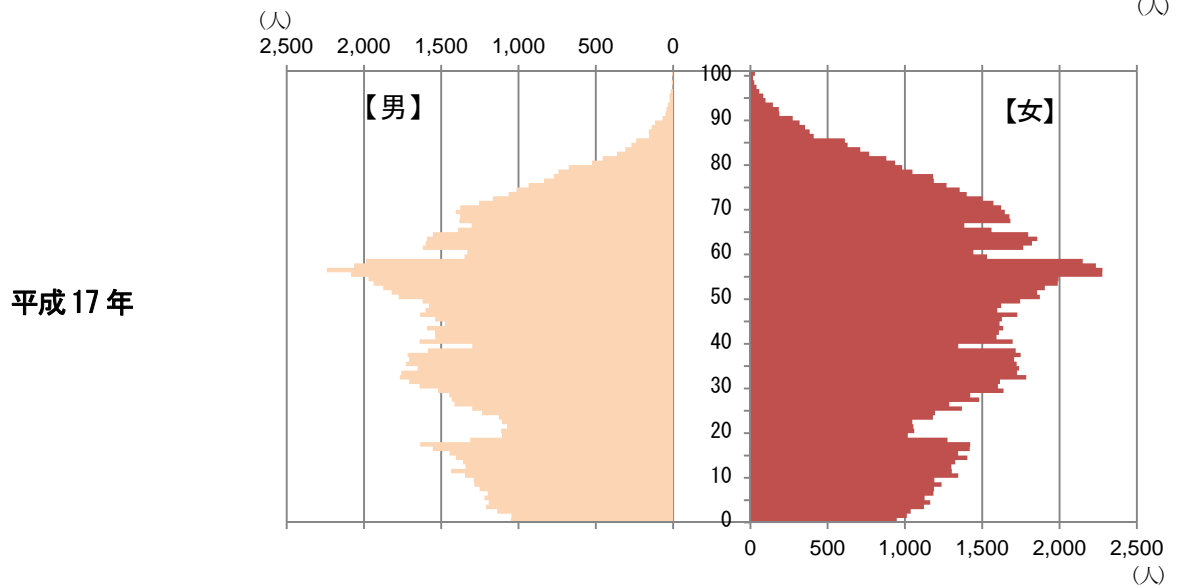
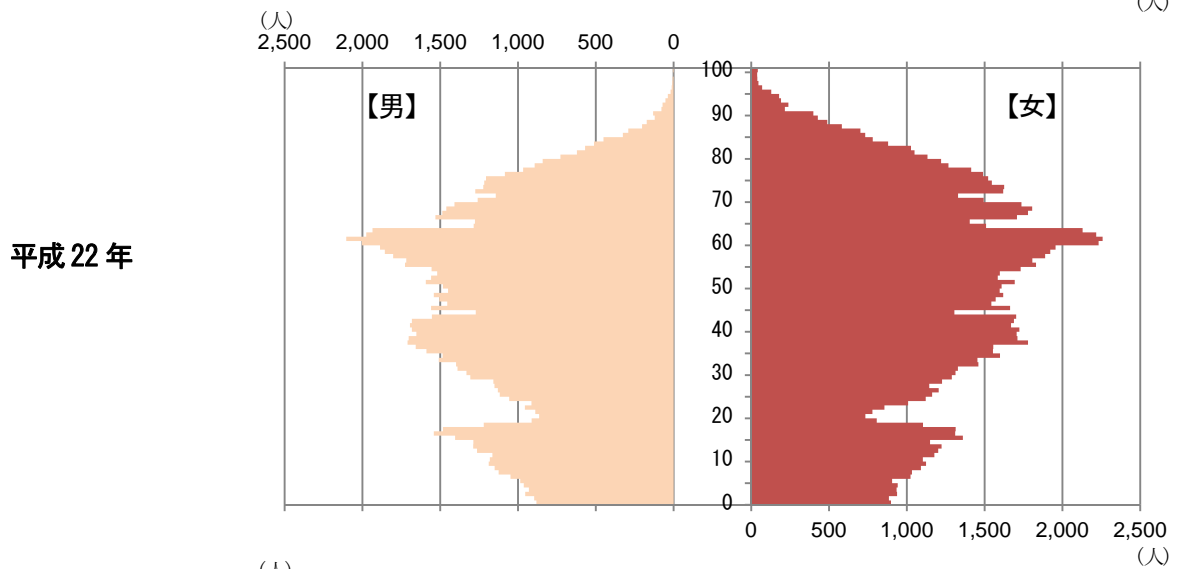
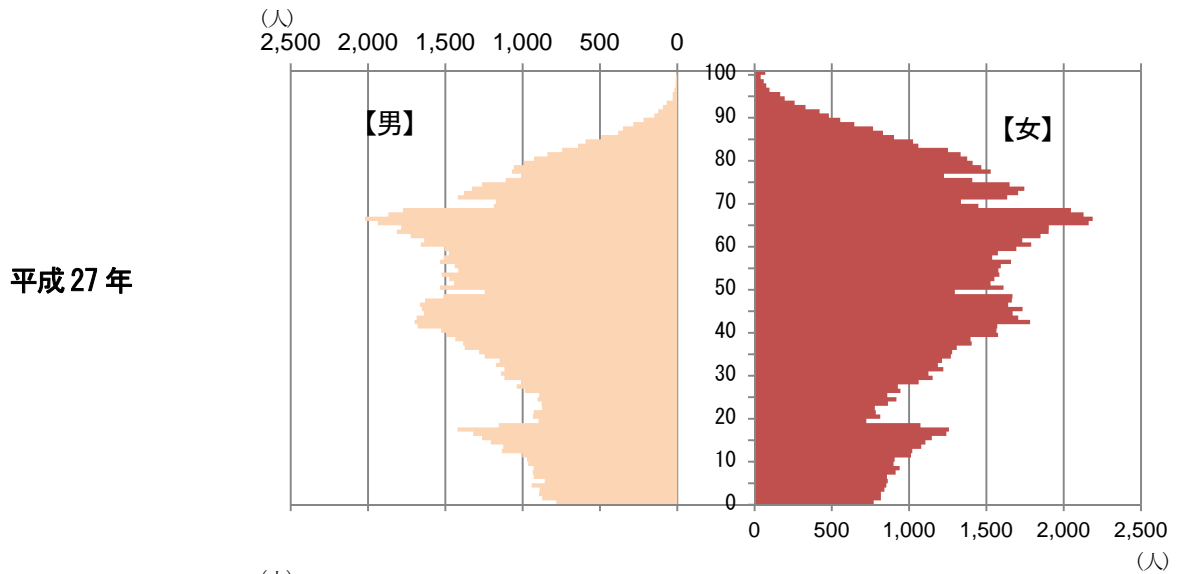
東北地方における人口規模(上位 10 都市)

順位		市	平成27年人口			平成22年 人口(組替)	増減(平成27年-平成22年)	
東北	全国		総数	男	女		実数	率(%)
1	12	仙台市	1,082,159	527,170	554,989	1,045,986	36,173	3.5
2	60	いわき市	350,237	172,829	177,408	342,249	7,988	2.3
3	67	郡山市	335,444	167,096	168,348	338,712	△ 3,268	△ 1.0
4	69	秋田市	315,814	148,851	166,963	323,600	△ 7,786	△ 2.4
5	73	盛岡市	297,631	141,089	156,542	298,348	△ 717	△ 0.2
6	74	福島市	294,247	144,690	149,557	292,590	1,657	0.6
7	76	青森市	287,648	133,560	154,088	299,520	△ 11,872	△ 4.0
8	91	山形市	253,832	121,575	132,257	254,244	△ 412	△ 0.2
9	100	八戸市	231,257	110,493	120,764	237,615	△ 6,358	△ 2.7
10	131	弘前市	177,411	81,367	96,044	183,473	△ 6,062	△ 3.3

6 年齢別・男女別人口

(1) 人口ピラミッド

当市の人口ピラミッドの形状は、第一次ベビーブーム(昭和 22～24 年生)と第二次ベビーブーム(昭和 46～49 年生)さらに平成 10～12 年生を頂点とした、変形のひょうたん型となっています。



(2) 年齢3区分別人口

人口を年齢3区分別にみると、0～14歳の年少人口は28,122人(構成比12.3%)、15～64歳の生産年齢人口は136,712人(59.8%)、65歳以上の老年人口は63,614人(27.8%)となっています。

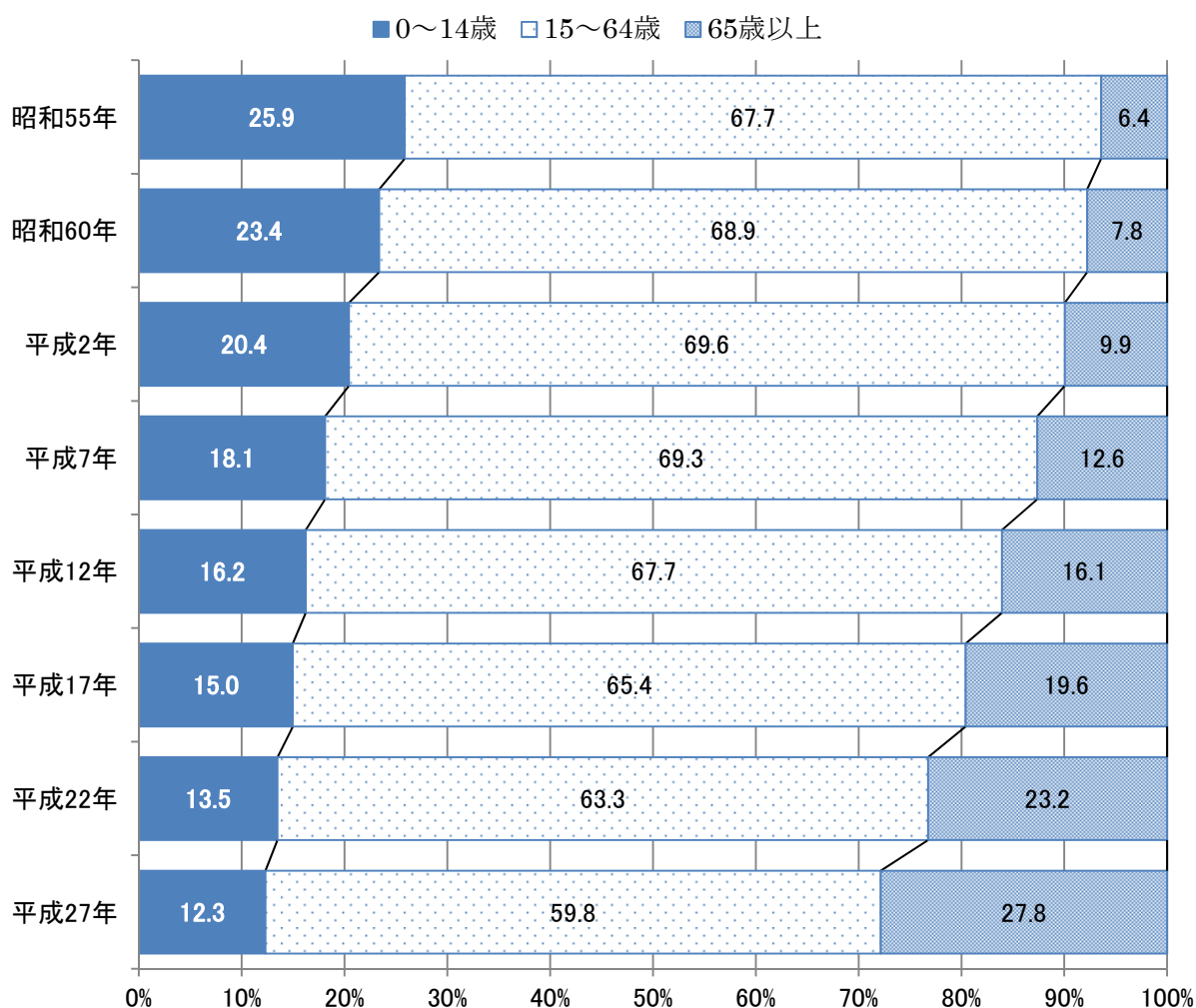
これを平成22年と比較すると、年少人口は3,804人(1.2%)減少、生産年齢人口も13,130人(3.4%)減少しているのに対して、老年人口は8,584人(4.6%)増加しています。

また、平成17年からの10年間で比較すると、年少人口が8,535人(2.7%)の減少、生産年齢人口が23,400人(5.6%)の減少を示していますが、老年人口は、15,702人(8.2%)の増加を示しています。特に、生産年齢人口の減少が大きくなっています。

次に、年齢構成指数を平成22年調査と比較すると、年少人口指数^{※1}は21.3から20.6に0.7ポイント低下し、老年人口指数^{※2}は36.7から46.5に9.8ポイント増加しています。

また、老年化指数^{※3}をみると、172.4から226.2に53.8ポイント上昇し、少子高齢化が更に進んでいるといえます。

年齢(3区分)別人口の推移



※年齢「不詳」を除いて算出

※1: 年少人口指数(生産年齢人口に対する年少人口の割合) = 年少人口/生産年齢人口×100

※2: 老年人口指数(生産年齢人口に対する老年人口の割合) = 老年人口/生産年齢人口×100

※3: 老年化指数(年少人口に対する老年人口の割合) = 老年人口/年少人口×100

年齢(3区分)別・男女別人口 増減表

区分	平成27年			平成22年			平成17年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	231,257	110,493	120,764	237,615	113,340	124,275	244,700	117,446	127,254
年少人口	28,122	14,433	13,689	31,926	16,302	15,624	36,657	18,771	17,886
生産年齢人口	136,712	67,816	68,896	149,842	73,916	75,926	160,112	78,961	81,151
老年人口	63,614	26,596	37,018	55,030	22,684	32,346	47,912	19,700	28,212
不詳	2,809	1,648	1,161	817	438	379	19	14	5
年少人口指数	20.6	21.3	19.9	21.3	22.1	20.6	22.9	23.8	22.0
老年人口指数	46.5	39.2	53.7	36.7	30.7	42.6	29.9	24.9	34.8
老年化指数	226.2	184.3	270.4	172.4	139.1	207.0	130.7	104.9	157.7

区分	平成27-22年 増減			平成22-17年 増減			平成27-17年 増減		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	△ 6,358	△ 2,847	△ 3,511	△ 7,085	△ 4,106	△ 2,979	△ 13,443	△ 6,953	△ 6,490
年少人口	△ 3,804	△ 1,869	△ 1,935	△ 4,731	△ 2,469	△ 2,262	△ 8,535	△ 4,338	△ 4,197
生産年齢人口	△ 13,130	△ 6,100	△ 7,030	△ 10,270	△ 5,045	△ 5,225	△ 23,400	△ 11,145	△ 12,255
老年人口	8,584	3,912	4,672	7,118	2,984	4,134	15,702	6,896	8,806
不詳	1,992	1,210	782	798	424	374	2,790	1,634	1,156
年少人口指数	△ 0.7	△ 0.8	△ 0.7	△ 1.6	△ 1.7	△ 1.5	△ 2.3	△ 2.5	△ 2.2
老年人口指数	9.8	8.5	11.1	6.8	5.7	7.8	16.6	14.3	19.0
老年化指数	53.8	45.1	63.4	41.7	34.2	49.3	95.5	79.3	112.7

年齢(3区分)別・男女別人口構成比 増減表

区分	平成27年			平成22年			平成17年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
年少人口	12.3	13.3	11.4	13.5	14.4	12.6	15.0	16.0	14.1
生産年齢人口	59.8	62.3	57.6	63.3	65.5	61.3	65.4	67.2	63.8
老年人口	27.8	24.4	31.0	23.2	20.1	26.1	19.6	16.8	22.2

区分	平成27-22年 増減(%)			平成22-17年 増減(%)			平成27-17年 増減(%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
年少人口	△ 1.2	△ 1.2	△ 1.2	△ 1.5	△ 1.6	△ 1.5	△ 2.7	△ 2.7	△ 2.7
生産年齢人口	△ 3.4	△ 3.2	△ 3.7	△ 2.1	△ 1.7	△ 2.5	△ 5.6	△ 4.9	△ 6.2
老年人口	4.6	4.3	4.8	3.6	3.3	3.9	8.2	7.6	8.8

※年齢「不詳」を除いて算出

(3) 年齢（5歳階級）別にみた年齢3区分別人口

5歳階級別の人口を平成22年調査と比較すると、0～39歳の8階級と50～64歳の3階級で人口が減少しており、0～14歳までの年少人口では全ての階級で人口が減少しています。

15～64歳までの生産年齢人口も年々減少していますが、5歳階級別にみると40～49歳の2階級で若干増加しており、その他の階級では減少しています。特に、30～39歳、55～59歳の減少が大きく、男女共に減少の傾向に差がありません。

老年人口は毎調査ごとに増加しており、65歳以上全ての階級で人口が増加しています。

次に、25～39歳及び50～64歳の6階級について、10年前の平成17年調査からの推移をみてみます（右表中の①～⑥）。

①～③をみると、①平成17年調査時に5～9歳の人口は12,173人、10年後の平成27年では15～19歳で11,496人となり、677人の減少、同様に②平成17年の10～14歳は13,564人、平成27年では20～24歳で8,673人となり、4,891人の減少、③平成17年の15～19歳は13,535人、平成27年では25～29歳で9,984人となり、3,551人減少しています。

また④～⑥をみると、④平成17年に30～34歳の人口は16,992人で、平成27年では40～44歳は16,521人となり471人の減少、同様に⑤平成17年35～39歳の人口は16,277人、平成27年では45～49歳は15,707人となり570人の減少、⑥平成17年の40～44歳は15,933人、平成27年では50～54歳で15,243人となり690人減少しています。

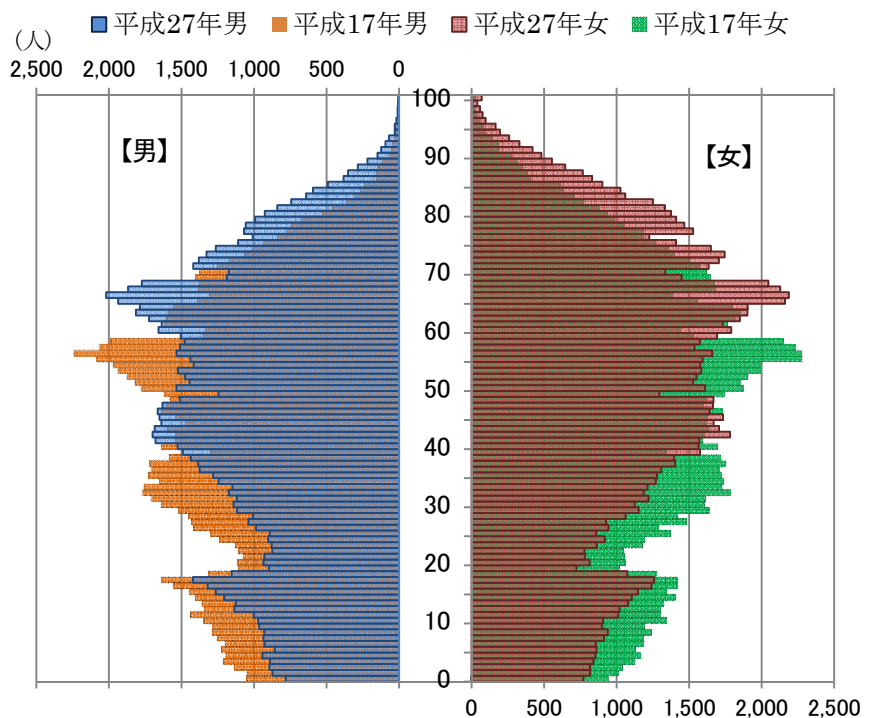
15～29歳階級では、20歳前後に大きな減少があることから、年少人口の減少の影響だけではなく、高等学校や大学等の卒業・進学及び市外への就職など社会動態も減少の原因と推測されます。

また、40～54歳の段階では、10年間の人口は若干減少しながら推移していることから、過去の人口の減少を受けて減少していると考えられます。

右表及び人口ピラミッドにおいて平成17年から10年間を比較すると、年少人口の減少の影響を受け、生産年齢人口の減少が続いており、今後もこの傾向が続くと考えられます。

また、年齢の高い階級では、人口が増加すると共に、概ね人口を保ちながら推移していることから、今後も老年人口の増加傾向が続き、少子高齢化が進むと予測されます。

人口ピラミッド（平成27年と平成17年の比較）



年齢(5歳階級)別人口比較表

(人)

区分	平成27年			平成22年			平成17年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	231,257	110,493	120,764	237,615	113,340	124,275	244,700	117,446	127,254
0～4歳	8,479	4,381	4,098	9,219	4,624	4,595	10,920	5,637	5,283
5～9歳	9,083	4,613	4,470	10,670	5,495	5,175	12,173	6,247	5,926
10～14歳	10,560	5,439	5,121	12,037	6,183	5,854	13,564	6,887	6,677
15～19歳	11,496	6,055	5,441	12,454	6,559	5,895	13,535	7,057	6,478
20～24歳	8,673	4,517	4,156	9,175	4,678	4,497	11,198	5,660	5,538
25～29歳	9,984	5,040	4,944	11,887	5,861	6,026	14,310	7,114	7,196
30～34歳	11,841	5,826	6,015	14,265	7,111	7,154	16,992	8,527	8,465
35～39歳	13,930	6,968	6,962	16,616	8,311	8,305	16,277	8,037	8,240
40～44歳	16,521	8,229	8,292	15,972	7,883	8,089	15,933	7,788	8,145
45～49歳	15,707	7,704	8,003	15,505	7,511	7,994	16,297	7,978	8,319
50～54歳	15,243	7,394	7,849	15,924	7,709	8,215	18,995	9,379	9,616
55～59歳	15,521	7,465	8,056	18,394	8,990	9,404	20,194	9,723	10,471
60～64歳	17,796	8,618	9,178	19,650	9,303	10,347	16,381	7,698	8,683
65～69歳	18,753	8,783	9,970	15,598	7,164	8,434	14,809	6,861	7,948
70～74歳	14,631	6,562	8,069	13,730	6,117	7,613	13,326	5,875	7,451
75～79歳	12,277	5,237	7,040	11,904	4,991	6,913	9,628	3,959	5,669
80～84歳	9,789	3,744	6,045	7,747	2,878	4,869	5,847	1,921	3,926
85～89歳	5,428	1,728	3,700	4,043	1,112	2,931	2,885	807	2,078
90～94歳	2,150	464	1,686	1,592	369	1,223	1,106	217	889
95～99歳	513	75	438	369	48	321	275	53	222
100歳以上	73	3	70	47	5	42	36	7	29

(再掲)

年少人口	28,122	14,433	13,689	31,926	16,302	15,624	36,657	18,771	17,886
生産年齢人口	136,712	67,816	68,896	149,842	73,916	75,926	160,112	78,961	81,151
老年人口	63,614	26,596	37,018	55,030	22,684	32,346	47,912	19,700	28,212
年齢不詳	2,809	1,648	1,161	817	438	379	19	14	5

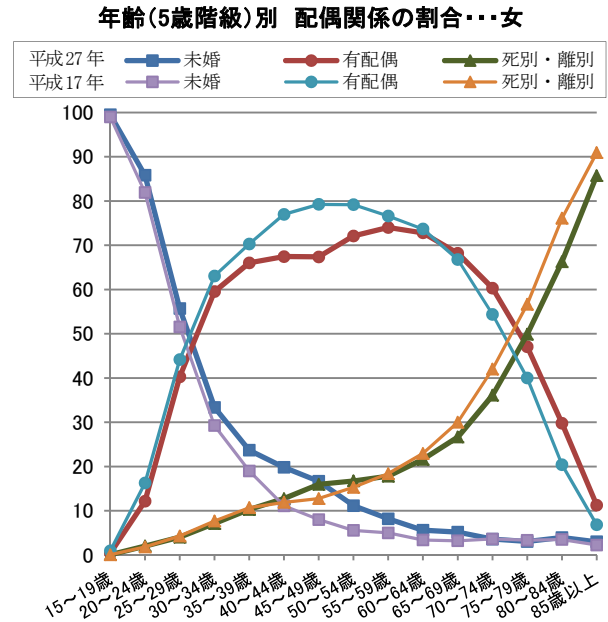
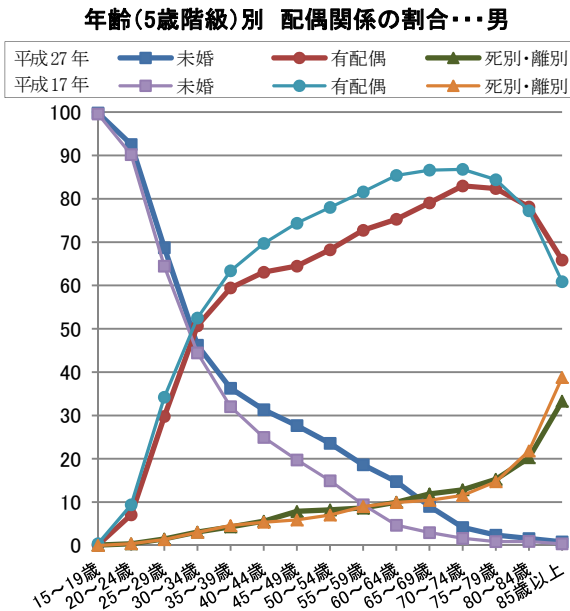
区分	調査年別人口増減								
	平成27年-平成22年			平成22年-平成17年			平成27年-平成17年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	△ 6,358	△ 2,847	△ 3,511	△ 7,085	△ 4,106	△ 2,979	△ 13,443	△ 6,953	△ 6,490
0～4歳	△ 740	△ 243	△ 497	△ 1,701	△ 1,013	△ 688	△ 2,441	△ 1,256	△ 1,185
5～9歳	△ 1,587	△ 882	△ 705	△ 1,503	△ 752	△ 751	△ 3,090	△ 1,634	△ 1,456
10～14歳	△ 1,477	△ 744	△ 733	△ 1,527	△ 704	△ 823	△ 3,004	△ 1,448	△ 1,556
15～19歳	△ 958	△ 504	△ 454	△ 1,081	△ 498	△ 583	△ 2,039	△ 1,002	△ 1,037
20～24歳	△ 502	△ 161	△ 341	△ 2,023	△ 982	△ 1,041	△ 2,525	△ 1,143	△ 1,382
25～29歳	△ 1,903	△ 821	△ 1,082	△ 2,423	△ 1,253	△ 1,170	△ 4,326	△ 2,074	△ 2,252
30～34歳	△ 2,424	△ 1,285	△ 1,139	△ 2,727	△ 1,416	△ 1,311	△ 5,151	△ 2,701	△ 2,450
35～39歳	△ 2,686	△ 1,343	△ 1,343	339	274	65	△ 2,347	△ 1,069	△ 1,278
40～44歳	549	346	203	39	95	△ 56	588	441	147
45～49歳	202	193	9	△ 792	△ 467	△ 325	△ 590	△ 274	△ 316
50～54歳	△ 681	△ 315	△ 366	△ 3,071	△ 1,670	△ 1,401	△ 3,752	△ 1,985	△ 1,767
55～59歳	△ 2,873	△ 1,525	△ 1,348	△ 1,800	△ 733	△ 1,067	△ 4,673	△ 2,258	△ 2,415
60～64歳	△ 1,854	△ 685	△ 1,169	3,269	1,605	1,664	1,415	920	495
65～69歳	3,155	1,619	1,536	789	303	486	3,944	1,922	2,022
70～74歳	901	445	456	404	242	162	1,305	687	618
75～79歳	373	246	127	2,276	1,032	1,244	2,649	1,278	1,371
80～84歳	2,042	866	1,176	1,900	957	943	3,942	1,823	2,119
85～89歳	1,385	616	769	1,158	305	853	2,543	921	1,622
90～94歳	558	95	463	486	152	334	1,044	247	797
95～99歳	144	27	117	94	△ 5	99	238	22	216
100歳以上	26	△ 2	28	11	7	13	37	5	41

(再掲)

年少人口	△ 3,804	△ 1,869	△ 1,935	△ 4,731	△ 2,469	△ 2,262	△ 8,535	△ 4,338	△ 4,197
生産年齢人口	△ 13,130	△ 6,100	△ 7,030	△ 10,270	△ 5,045	△ 5,225	△ 23,400	△ 11,145	△ 12,255
老年人口	8,584	3,912	4,672	7,118	2,984	4,134	15,702	6,896	8,806
年齢不詳	1,992	1,210	782	798	424	374	2,790	12	1,156

7 配偶関係別・男女別人口

配偶関係を男女別にみると、未婚は男性が28,837人(構成比30.8%)、女性が21,622人(20.5%)、有配偶は男性が56,766人(60.7%)、女性が57,158人(54.3%)となっています。平成17年の結果と比較すると、男女ともに未婚率が上昇し、有配偶率が減少しています。特に35歳以上の未婚率が大きく上昇しています。



8 国籍別・男女別人口

外国人人口は693人で、平成22年と比較して33人(5.0%)増加しました。

男女別にみると、男性310人、女性383人で、女性が73人上回っています。

国籍別では、中国の218人(31.5%)が最も多く、次いで韓国、朝鮮157人(22.7%)、フィリピン127人(18.3%)となっています。平成22年と比較すると、中国や韓国、朝鮮が減少しているのに対して、ベトナム、フィリピンといった東南アジアの国々や、アメリカが増加しています。

国籍別・男女別人口増減 構成表

国籍	平成27年			平成22年			平成27-22年 増減数			平成27年構成比(%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数(外国人)	693	310	383	660	276	384	33	34	△ 1	-	-	-
韓国, 朝鮮	157	78	79	193	93	100	△ 36	△ 15	△ 21	22.7	25.2	20.6
中国	218	113	105	235	108	127	△ 17	5	△ 22	31.5	36.5	27.4
フィリピン	127	21	106	102	19	83	25	2	23	18.3	6.8	27.7
タイ	15	1	14	11	1	10	4	-	4	2.2	0.3	3.7
インドネシア	18	8	10	12	2	10	6	6	-	2.6	2.6	2.6
ベトナム	28	12	16	1	1	-	27	11	-	4.0	3.9	4.2
インド 1)	1	1	-	0.1	0.3	-
イギリス	7	6	1	5	4	1	2	2	-	1.0	1.9	0.3
アメリカ	43	32	11	26	16	10	17	16	1	6.2	10.3	2.9
ブラジル	-	-	-	1	1	-	△ 1	△ 1	-	-	-	-
ペルー	3	-	3	3	-	3	-	-	-	0.4	-	0.8
その他 2)	76	38	38	71	31	40	5	7	△ 2	11.0	12.3	9.9

1) 平成22年では「その他」を含む

2) 無国籍及び国籍「不詳」を含む

Ⅱ 世帯と住居

1 世帯の状況

世帯総数 93,750 世帯のうち、病院、社会施設の入居者などの「施設等の世帯」を除いた「一般世帯」は 93,519 世帯で、世帯総数の 99.8%を占めています。一般世帯の世帯人員は、224,020 人で、総人口の 96.9%を占めています。

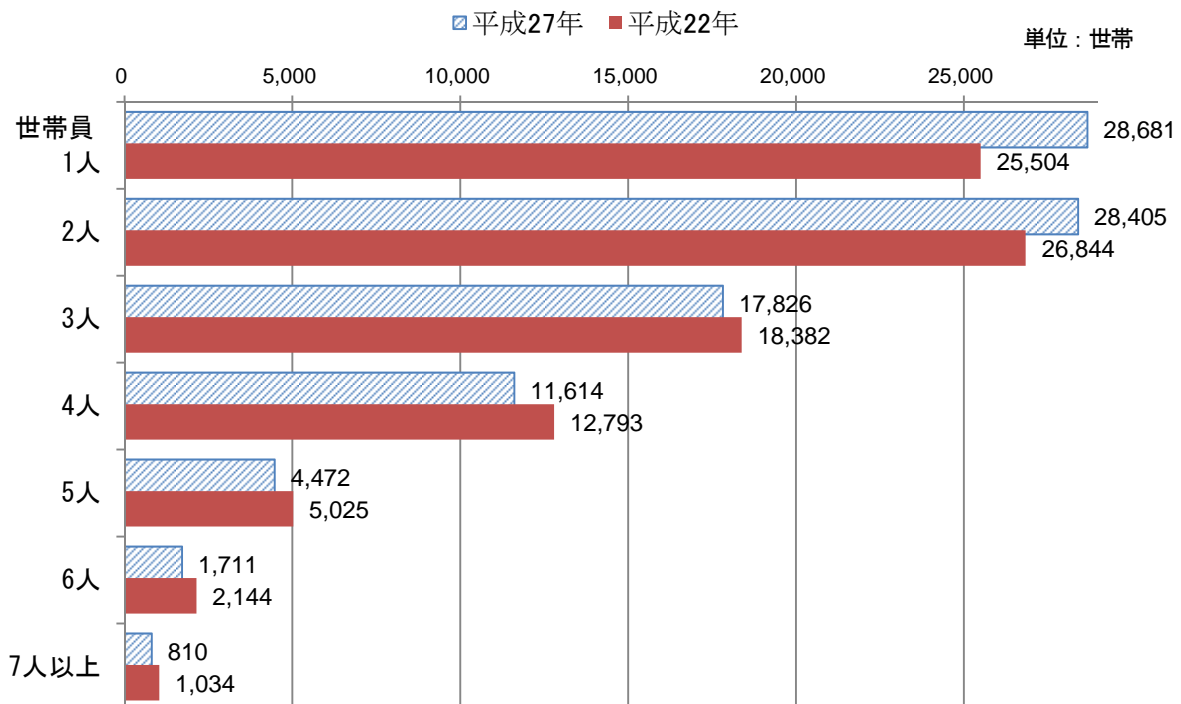
一般世帯数を平成 22 年と比較すると、1,793 世帯(2.0%)増加している一方、一般世帯員は 7,085 人(3.1%)減少しています。これに伴い、1 世帯あたりの世帯人員は平成 22 年の 2.52 人から 2.40 人となり、0.12 人減少しています。

次に世帯人員別に見ると、1 世帯あたり 3 人以上の世帯は減少している一方、世帯人員が 1~2 人の世帯数は増加しており、世帯人員が 1 人の世帯数は 3,177 世帯、2 人の世帯数は 1,561 世帯増加しています。

世帯員(7区分)別一般世帯数、一般世帯人員及び1世帯あたり人員

区分	総数		一般世帯										(再掲)	
	世帯数	世帯員数	世帯数								世帯人員	1世帯あたり人員	間借り・下宿などの単身者	会社などの独身寮の単身者
			総数	世帯員1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上				
平成27年	93,750	231,257	93,519	28,681	28,405	17,826	11,614	4,472	1,711	810	224,020	2.40	584	540
平成22年	91,917	237,615	91,726	25,504	26,844	18,382	12,793	5,025	2,144	1,034	231,105	2.52	570	393
増減	1,833	△ 6,358	1,793	3,177	1,561	△ 556	△ 1,179	△ 553	△ 433	△ 224	△ 7,085	△ 0.12	14	147
増減率(%)	2.0	△ 2.7	2.0	12.5	5.8	△ 3.0	△ 9.2	△ 11.0	△ 20.2	△ 21.7	△ 3.1	△ 4.76	2.5	37.4

世帯人員(7区分)別 一般世帯



2 高齢者世帯の状況

総世帯数 93,750 世帯のうち、65 歳以上親族のいる一般世帯数は 41,724 世帯で、平成 22 年と比較すると 4,919 世帯(13.4%)増加しました。

夫婦のみの世帯のうち、いずれかが高齢者である世帯数は 11,173 世帯で、平成 22 年と比較すると 1,933 世帯(20.9%)増加しています。そのうち、夫婦とも高齢者の世帯は 8,838 世帯で、平成 22 年と比較すると 1,824 世帯(26.0%)増加しており、核家族の高齢化が進んでいます。

また、高齢者の単身世帯は 10,447 世帯で、平成 22 年と比較すると 2,412 世帯(30.0%)増加しています。

高齢者世帯の状況別世帯数

世帯の区分	平成27年	平成22年	増減数	増減率(%)
世帯総数	93,750	91,917	1,833	2.0
うち一般世帯 総数	93,519	91,726	1,793	2.0
65歳以上親族のいる一般世帯	41,724	36,805	4,919	13.4
75歳以上親族のいる一般世帯	21,643	18,791	2,852	15.2
85歳以上親族のいる一般世帯	5,789	4,440	1,349	30.4
いずれかが65歳以上の夫婦のみの世帯	11,173	9,240	1,933	20.9
うち夫婦とも65歳以上の世帯	8,838	7,014	1,824	26.0
高齢単身世帯 1)	10,447	8,035	2,412	30.0

1) 65歳以上の者一人のみの一般世帯

3 住居の状況

一般世帯 93,519 世帯のうち、住宅に住む世帯は 92,420 世帯で、一般世帯数の 98.8%を占めています。

住宅の所有関係別に見ると、持ち家に住む世帯は 59,166 世帯で最も多く、次いで民営の貸家に住む世帯 26,201 世帯、公営・都市再生機構・公舎の貸家に住む世帯 3,732 世帯、給与住宅に住む世帯 2,560 世帯となっています。

平成 22 年調査と比較すると、持ち家に住む世帯は 1,869 世帯 (3.3%) 増加しました。

住居の種類・住宅の所有の関係(6区分)別一般世帯数

区分	一般世帯数	住宅に住む一般世帯							住宅以外に住む一般世帯
		総数	世帯主				間借り		
			総数	持ち家	公営・都市再生機構・公舎の借家	民営の借家		給与住宅	
平成27年	93,519	92,420	91,659	59,166	3,732	26,201	2,560	761	1,099
平成22年	91,726	91,177	90,140	57,297	4,042	25,874	2,927	1,037	549
増減数	1,793	1,243	1,519	1,869	△ 310	327	△ 367	△ 276	550
増減率(%)	2.0	1.4	1.7	3.3	△ 7.7	1.3	△ 12.5	△ 26.6	100.2

Ⅲ 労働力の状態

1 労働力人口

平成27年10月1日現在の八戸市の15歳以上人口200,326人のうち、労働力人口(就業者と完全失業者の計)は114,320人で、平成22年調査と比較し4,518人減少しました。

労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は57.9%であり、平成22年と比較すると1.0ポイント減少しています。

一方、非労働力人口は83,080人で、平成22年と比較すると291人増加しています。

労働力人口を男女別にみると、男性63,498人、女性50,822人で、平成22年と比較すると、男性は3,904人、女性は614人それぞれ減少しています。

労働力状態 男女別 15歳以上人口

労働力状態	平成27年			平成22年			増減数			増減率(%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
15歳以上人口 1)	200,326	94,412	105,914	204,872	96,600	108,272	△ 4,546	△ 2,188	△ 2,358	△ 2.2	△ 2.3	△ 2.2
労働力人口	114,320	63,498	50,822	118,838	67,402	51,436	△ 4,518	△ 3,904	△ 614	△ 3.8	△ 5.8	△ 1.2
就業者	108,032	59,622	48,410	108,446	60,724	47,722	△ 414	△ 1,102	688	△ 0.4	△ 1.8	1.4
完全失業者	6,288	3,876	2,412	10,392	6,678	3,714	△ 4,104	△ 2,802	△ 1,302	△ 39.5	△ 42.0	△ 35.1
非労働力人口	83,080	29,351	53,729	82,789	27,607	55,182	291	1,744	△ 1,453	0.4	6.3	△ 2.6
労働力率(%) 2)	57.9	68.4	48.6	58.9	70.9	48.2	△ 1.0	△ 2.5	0.4	-	-	-

1) 労働力状態「不詳」を含む

2) 労働力人口/15歳以上人口×100 (労働力状態「不詳」を除いて算出)

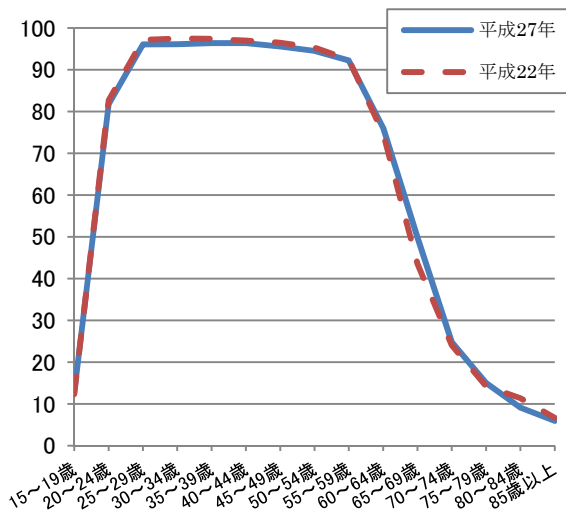
2 年齢(5歳階級)別の労働力の状態

(1) 労働力率

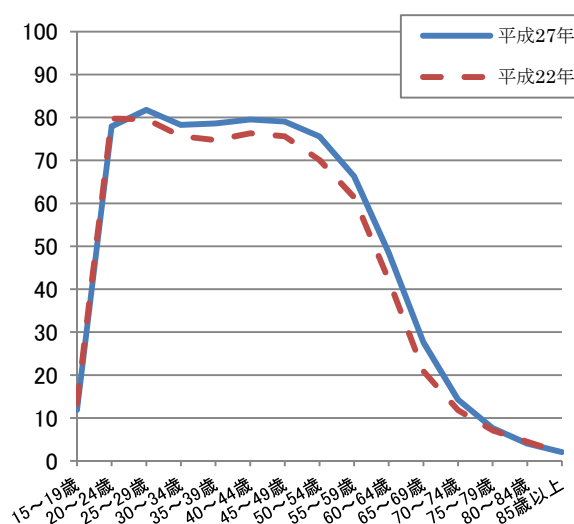
労働力率の構成を男女別に比較すると、男性は20代~50代までが横ばいの台形、女性は30代が少ないM字型をしています。

平成22年調査と比較すると、男性は60代でやや上昇し、女性は全体的に増加してM字型が緩やかになっています。

年齢(5歳階級)別 労働力率 … 男



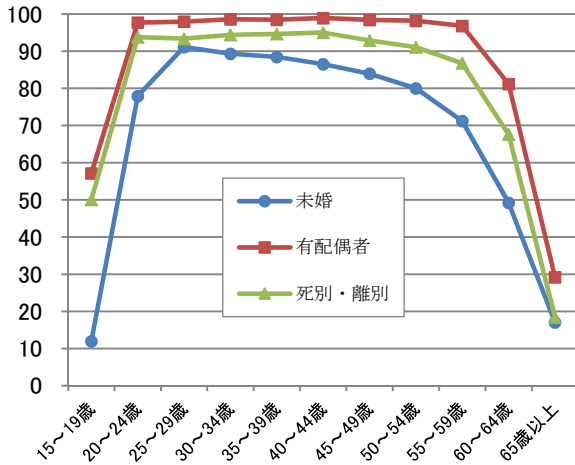
年齢(5歳階級)別 労働力率 … 女



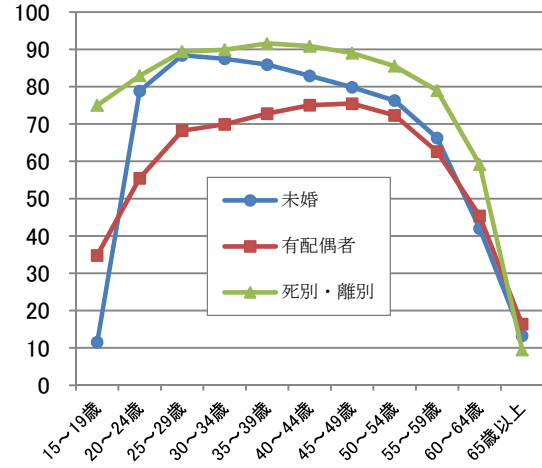
労働力率を配偶関係別の年齢5歳階級毎にみると、男性は「未婚」の労働力率がやや低いものの、20代後半から50代後半まで高い割合を示しており、20代以降の傾向に大きな違いはありません。

一方、女性は10代～40代の「有配偶者」の労働力率が、他の配偶関係と比べて低いことが分かります。

配偶関係、年齢（5歳階級）別 労働力率 … 男



配偶関係、年齢（5歳階級）別 労働力率 … 女



(2) 就業者と完全失業率

労働力人口 114,320 人のうち就業者は 108,032 人で、平成 22 年と比較して 4,518 人減少しています。

就業者を男女別にみると、男性は 59,622 人、女性が 48,410 人で、平成 22 年と比較して、男性が 1,102 人減少、女性が 688 人増加しています。男性では「主に仕事」が減少する一方、女性は「主に仕事」が増加し、「家事のほか仕事」が減少しています。

男女別就業者数及び完全失業率

労働力状態	平成27年			平成22年			増減数			増減率 (%)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
15歳以上人口 1)	200,326	94,412	105,914	204,872	96,600	108,272	△ 4,546	△ 2,188	△ 2,358	△ 2.2	△ 2.3	△ 2.2
労働力人口	114,320	63,498	50,822	118,838	67,402	51,436	△ 4,518	△ 3,904	△ 614	△ 3.8	△ 5.8	△ 1.2
就業者	108,032	59,622	48,410	108,446	60,724	47,722	△ 414	△ 1,102	688	△ 0.4	△ 1.8	1.4
主に仕事	94,365	57,584	36,781	94,862	58,900	35,962	△ 497	△ 1,316	819	△ 0.5	△ 2.2	2.3
家事のほか仕事	11,146	830	10,316	11,442	732	10,710	△ 296	98	△ 394	△ 2.6	13.4	△ 3.7
通学のかたわら仕事	564	300	264	538	291	247	26	9	17	4.8	3.1	6.9
休業者	1,957	908	1,049	1,604	801	803	353	107	246	22.0	13.4	30.6
完全失業者	6,288	3,876	2,412	10,392	6,678	3,714	△ 4,104	△ 2,802	△ 1,302	△ 39.5	△ 42.0	△ 35.1
完全失業率 (%) 2)	5.5	6.1	4.7	8.7	9.9	7.2	△ 3.2	△ 3.8	△ 2.5	-	-	-

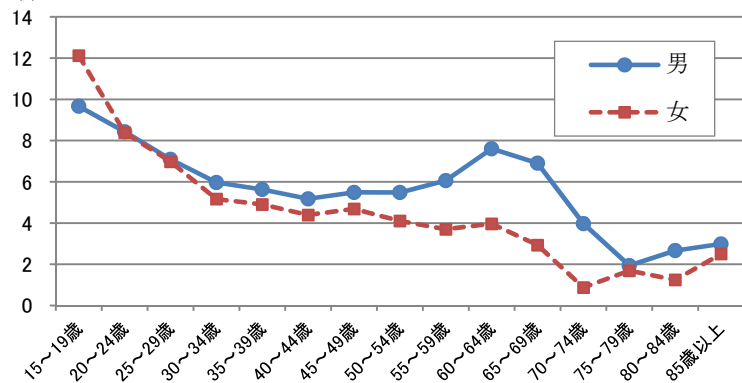
1) 労働力状態「不詳」を含む

2) 完全失業者数/労働力人口×100

完全失業者数と完全失業率は、6,288 人(5.5%)となり、平成 22 年と比較すると 3.2 ポイントの減少となりました。

年齢階級別にみると、男女とも 15～19 歳が最も高くなっています。また、男性は 60 代で一旦高くなっており、女性との差が大きくなっています。

年齢（5歳階級）別・男女別 完全失業率



3 産業大分類別就業者

(1) 産業大分類別の就業者数の状況

産業大分類別にみると、「卸売・小売業」が最も多く 19,305 人で全体の 17.9%を占めています。次いで「医療、福祉」が 14,338 人で 13.3%、「製造業」14,029 人で 13.0%、「建設業」10,092 人で 9.3%、「運輸業、郵便業」7,085 人で 6.6%を占めています。

産業大分類別 就業者数

産業大分類	就業者数			構成比 (%)			
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	108,032	59,622	48,410	-	-	-	
第一次産業	A 農業、林業 うち農業	2,873	1,704	1,169	2.7	2.9	2.4
	B 漁業	2,782	1,622	1,160	2.6	2.7	2.4
第二次産業	C 鉱業、採石業、砂利採取業	752	659	93	0.7	1.1	0.2
	D 建設業	165	141	24	0.2	0.2	0.0
	E 製造業	10,092	8,706	1,386	9.3	14.6	2.9
	F 電気・ガス・熱供給・水道業	14,029	8,870	5,159	13.0	14.9	10.7
	G 情報通信業	645	576	69	0.6	1.0	0.1
	H 運輸業、郵便業	1,374	871	503	1.3	1.5	1.0
	I 卸売業、小売業	7,085	6,066	1,019	6.6	10.2	2.1
	J 金融業、保険業	19,305	9,380	9,925	17.9	15.7	20.5
第三次産業	K 不動産業、物品賃貸業	2,495	1,020	1,475	2.3	1.7	3.0
	L 学術研究、専門・技術サービス業	1,661	898	763	1.5	1.5	1.6
	M 宿泊業、飲食サービス業	2,358	1,517	841	2.2	2.5	1.7
	N 生活関連サービス業、娯楽業	5,786	1,839	3,947	5.4	3.1	8.2
	O 教育、学習支援業	4,436	1,565	2,871	4.1	2.6	5.9
	P 医療、福祉	5,254	2,250	3,004	4.9	3.8	6.2
	Q 複合サービス事業	14,338	3,201	11,137	13.3	5.4	23.0
	R サービス業（他に分類されないもの）	636	397	239	0.6	0.7	0.5
	S 公務（他に分類されるものを除く）	6,691	4,123	2,568	6.2	6.9	5.3
	T 分類不能の産業	5,592	4,485	1,107	5.2	7.5	2.3
(再掲)		2,465	1,354	1,111	2.3	2.3	2.3
	第一次産業	3,625	2,363	1,262	3.4	4.1	2.7 1)
	第二次産業	24,286	17,717	6,569	23.0	30.4	13.9 1)
	第三次産業	77,656	38,188	39,468	73.6	65.5	83.4 1)

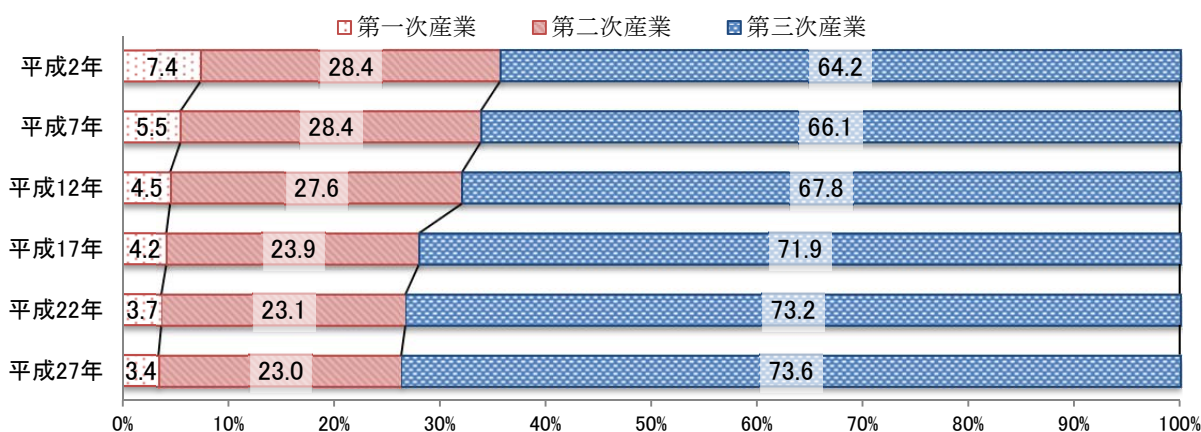
1) 分類不能の産業を除いて算出

(2) 産業3部門別の就業者数

就業者数を産業3部門別にみると、第一次産業は 3,625 人で全体の 3.4%、第二次産業は 24,286 人で 23.0%。第三次産業は 77,656 人で 73.6%を占めています。

平成2年以降の推移をみると、第一次・第二次産業の割合が減少する一方、第三次産業の割合が増加しています。

産業3部門別 就業者数 構成比の推移



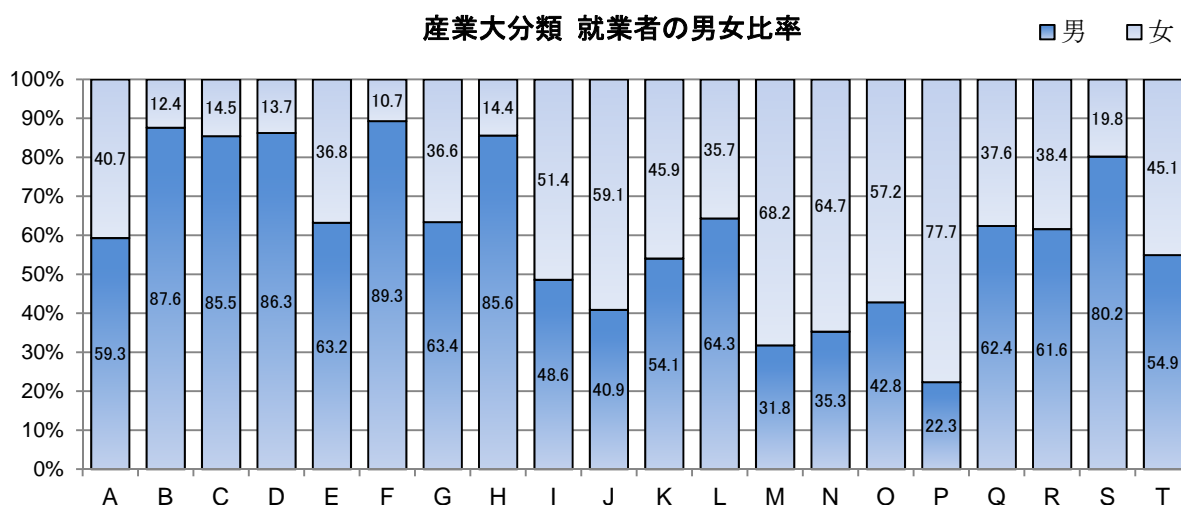
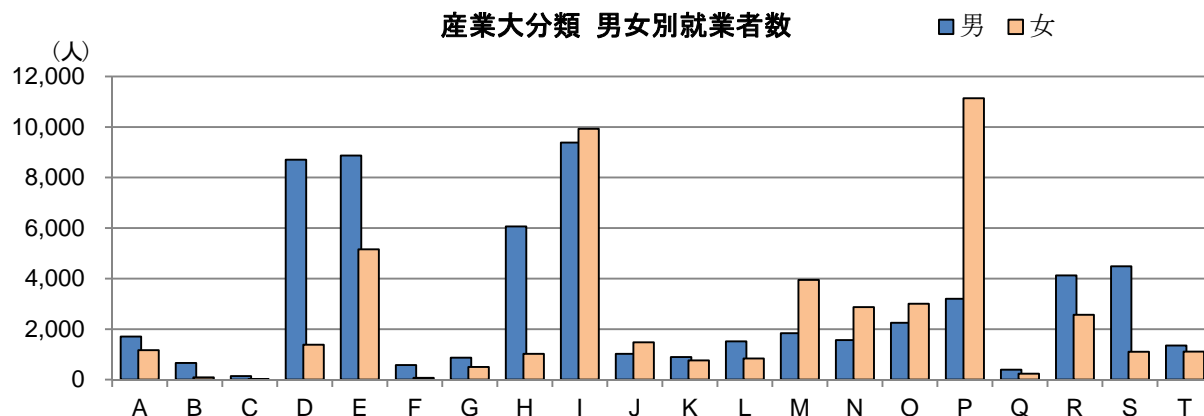
※分類不能の産業を除いて算出

(3) 産業分類別の男女別就業者

男女別にみると、男性の就業者数が多い産業は「卸売業・小売業」、「製造業」、「建設業」で、女性の就業者数が多い産業は「医療・福祉」、「卸売・小売」、「製造業」となっています。

産業別の男女比率をみると、男性の比率が高い産業は「電気・ガス・熱供給・水道業」、「漁業」、「建設業」、「運輸業、郵便業」、「鉱業、採石業、砂利採取業」、「公務(その他に分類されるものを除く)」であり、いずれも80%を越えています。

また、女性の比率が高い産業は、「医療、福祉」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」、「金融業・保険業」、「教育、学習支援業」、「卸売業・小売業」で50%を越えており、特に「医療・福祉」は75%を越えています。

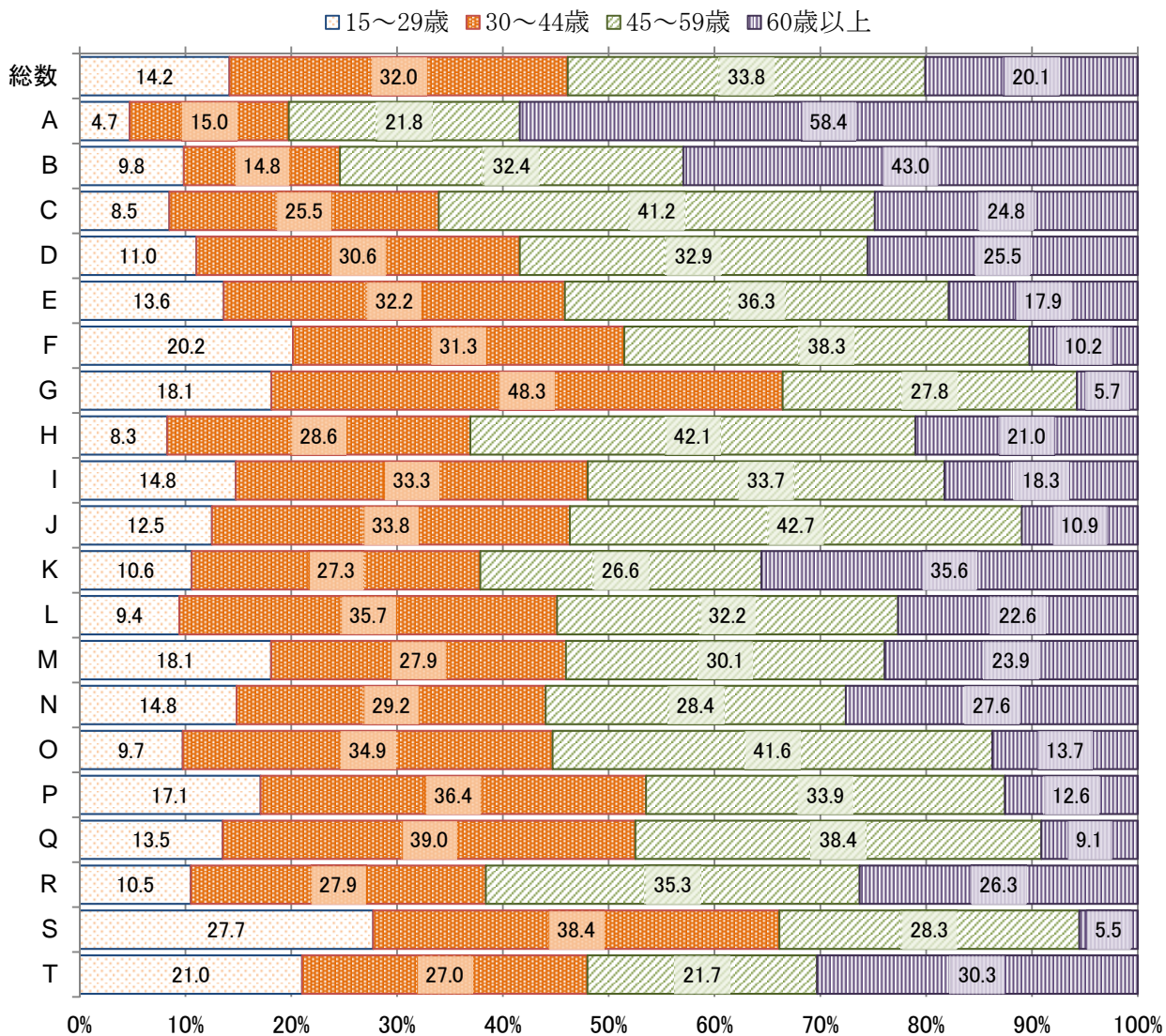


- | | |
|-----------------|---------------------|
| A 農業、林業 | K 不動産業、物品賃貸業 |
| B 漁業 | L 学術研究、専門・技術サービス業 |
| C 鉱業、採石業、砂利採取業 | M 宿泊業、飲食サービス業 |
| D 建設業 | N 生活関連サービス業、娯楽業 |
| E 製造業 | O 教育、学習支援業 |
| F 電気・ガス・熱供給・水道業 | P 医療、福祉 |
| G 情報通信業 | Q 複合サービス業 |
| H 運輸業、郵便業 | R サービス業(他に分類されないもの) |
| I 卸売業、小売業 | S 公務(他に分類されるものを除く) |
| J 金融業、保険業 | T 分類不能の産業 |

(4) 年齢階級別 就業者

産業大分類就業者を年齢階級別に比較すると、15～29歳で最も比率の高い産業は「S公務(他に分類されるものを除く)」の27.7%、30～44歳では「G情報通信業」の48.3%、45～59歳では「J金融業・保険業」の42.7%です。60歳以上では「A農業、林業」の58.4%が最も多く、次いで「B漁業」の43.0%、「K不動産業、物品賃貸業」の35.6%を占めています。

産業大分類 就業者の年齢（4区分）別 構成比



- A 農業、林業
- B 漁業
- C 鉱業、採石業、砂利採取業
- D 建設業
- E 製造業
- F 電気・ガス・熱供給・水道業
- G 情報通信業
- H 運輸業、郵便業
- I 卸売業、小売業
- J 金融業、保険業
- K 不動産業、物品賃貸業
- L 学術研究、専門・技術サービス業
- M 宿泊業、飲食サービス業
- N 生活関連サービス業、娯楽業
- O 教育、学習支援業
- P 医療、福祉
- Q 複合サービス業
- R サービス業(他に分類されないもの)
- S 公務(他に分類されるものを除く)
- T 分類不能の産業

4 老年人口の労働力人口と完全失業率

老年人口の労働力人口は、65歳以上人口 63,614 人のうち 11,951 人で、平成 22 年から 2,868 人増加しており、非労働力人口は 51,053 人で 5,694 人増加しています。

また、労働力率は 19.0% で平成 22 年と比較すると 2.3 ポイント増加しており、男女別にみると、男性が 2.0 ポイント、女性が 2.3 ポイント増加しています。

一方、完全失業者数は 496 人で 261 人減少、完全失業率は 4.2% で 4.1 ポイント減少しており、男女別にみると、男性 243 人(5.8 ポイント)、女性 18 人(1.4 ポイント)それぞれ減少しています。

高齢者の労働力状態

男女・年齢 (5歳階級)	平成 27年							平成22年						
	総数 1)	労働力人口			非労働 力人口	労働力 率(%) 2)	完全 失業率 (%) 3)	総数 1)	労働力人口			非労働 力人口	労働力 率(%) 2)	完全 失業率 (%) 3)
		総数	就業者	完全 失業者					総数	就業者	完全 失業者			
男女計														
65歳以上	63,614	11,951	11,455	496	51,053	19.0	4.2	55,030	9,083	8,326	757	45,359	16.7	8.3
65歳～74歳	33,384	9,812	9,359	453	23,246	29.7	4.6	29,328	7,167	6,520	647	21,822	24.7	9.0
75歳以上	30,230	2,139	2,096	43	27,807	7.1	2.0	25,702	1,916	1,806	110	23,537	7.5	5.7
15歳以上	200,326	114,320	108,032	6,288	83,080	57.9	5.5	204,872	118,838	108,446	10,392	82,789	58.9	8.7
男														
65歳以上	26,596	7,187	6,796	391	19,104	27.3	5.4	22,684	5,670	5,036	634	16,782	25.3	11.2
65歳～74歳	15,345	5,941	5,578	363	9,233	39.2	6.1	13,281	4,540	3,982	558	8,594	34.6	12.3
75歳以上	11,251	1,246	1,218	28	9,871	11.2	2.2	9,403	1,130	1,054	76	8,188	12.1	6.7
15歳以上	94,412	63,498	59,622	3,876	29,351	68.4	6.1	96,600	67,402	60,724	6,678	27,607	70.9	9.9
女														
65歳以上	37,018	4,764	4,659	105	31,949	13.0	2.2	32,346	3,413	3,290	123	28,577	10.7	3.6
65歳～74歳	18,039	3,871	3,781	90	14,013	21.6	2.3	16,047	2,627	2,538	89	13,228	16.6	3.4
75歳以上	18,979	893	878	15	17,936	4.7	1.7	16,299	786	752	34	15,349	4.9	4.3
15歳以上	105,914	50,822	48,410	2,412	53,729	48.6	4.7	108,272	51,436	47,722	3,714	55,182	48.2	7.2

1) 総数には労働力状態「不詳」を含む

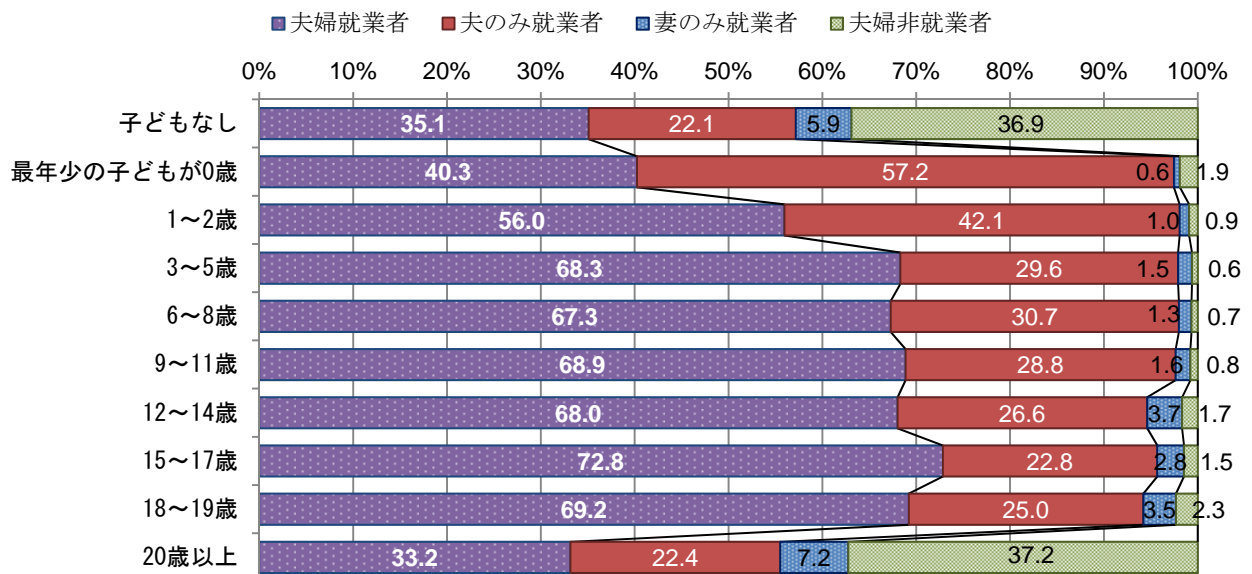
2) 労働力人口/総数×100(労働力状態「不詳」を除いて算出)

3) 完全失業者数/労働力人口×100

5 夫婦のいる一般世帯の就業状況

夫婦のいる一般世帯を就業状況別に比較すると、夫婦就業者では、最年少の子どもが 3～19 歳までの世帯で高い割合を示しています。夫のみ就業者では、最年少の子どもが 0 歳の世帯が 57.2% となっていますが、最年少の子どもの年齢が上がるとともに低くなっています。「子どもなしの世帯」及び「最年少の子どもが 20 歳以上の世帯」は、夫婦非就業者の割合が高い数値を示しています。

夫婦のいる世帯の子どもの年齢別就業状況

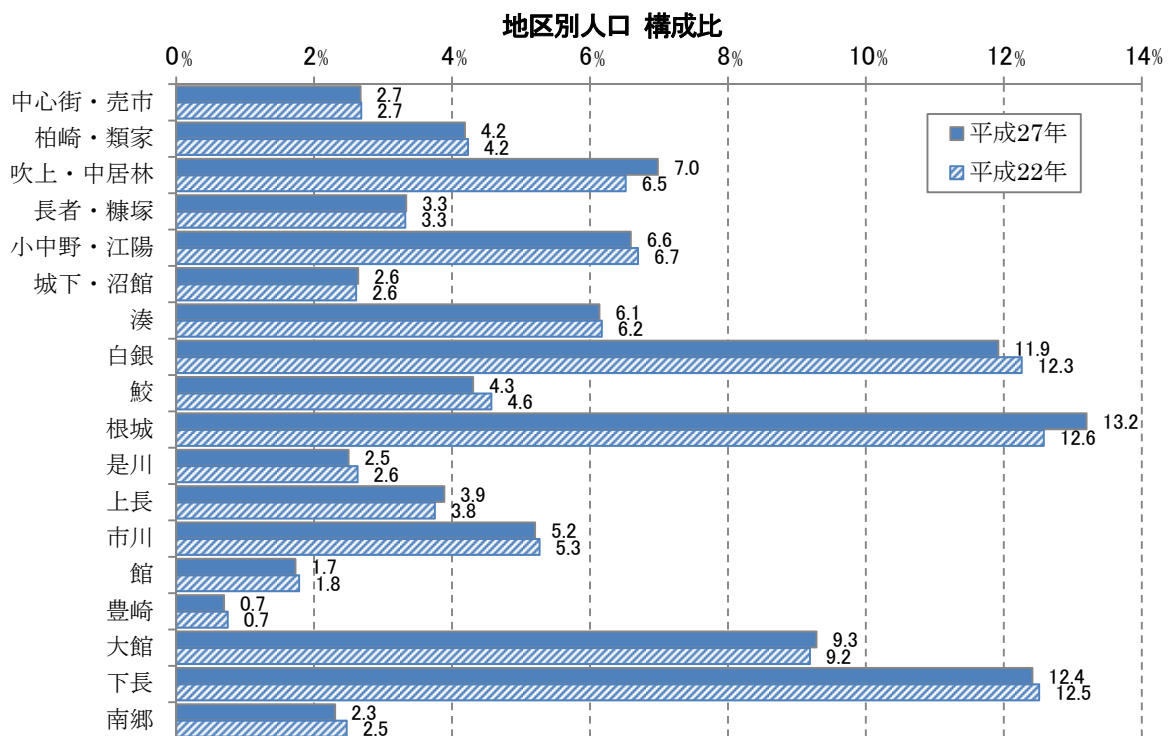
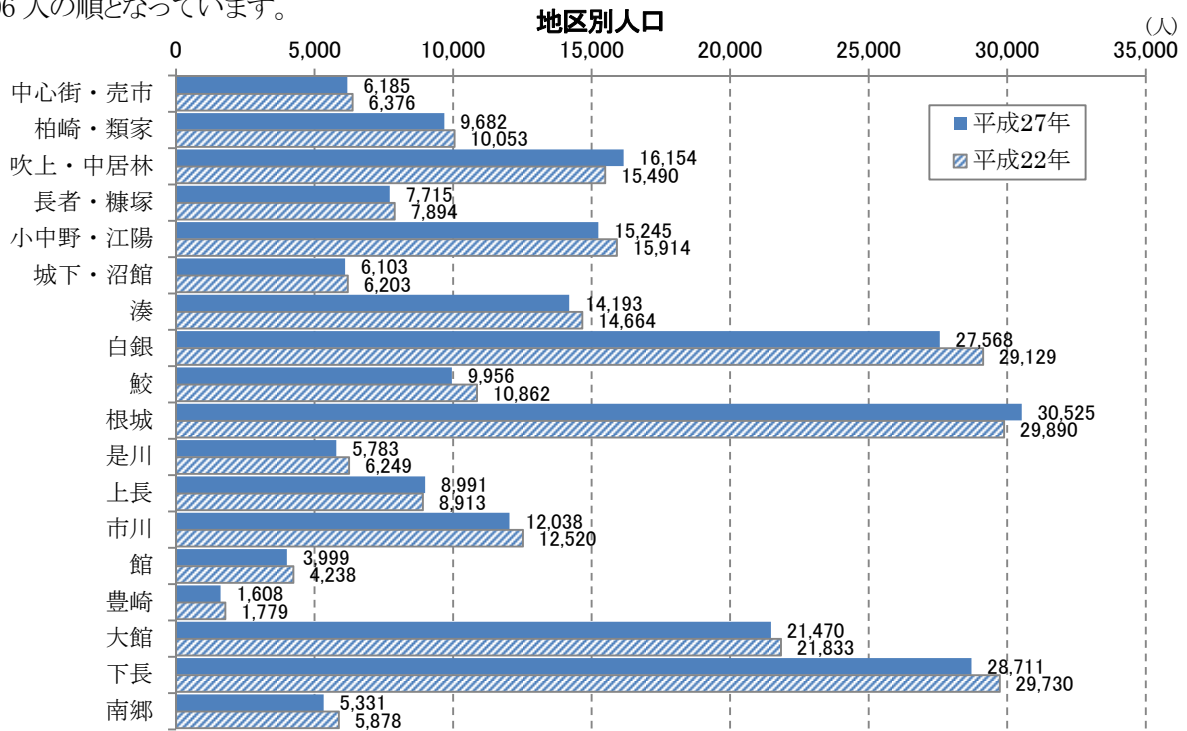


IV 地区別の概要

1 地区別の人口

地区別の人口を見ると、根城地区が 30,525 人で市全体の 13.2%を占めています。次いで下長地区の 28,711 人で12.4%、白銀地区の 27,568 人で 11.9%を占めており、市の人口の約 37%がこの 3 地区に集まっています。

平成22年の地区別人口と比較すると、田向地区を含む吹上・中居林地区が664人、白山台地区を含む根城地区が 635 人、八戸駅西地区を含む上長地区が 78 人増加していますが、その他の地域では人口が減少しています。最も人口が減少した地域は、白銀地区の 1,561 人で、次いで下長地区 1,019 人、鮫地区の 906 人の順となっています。



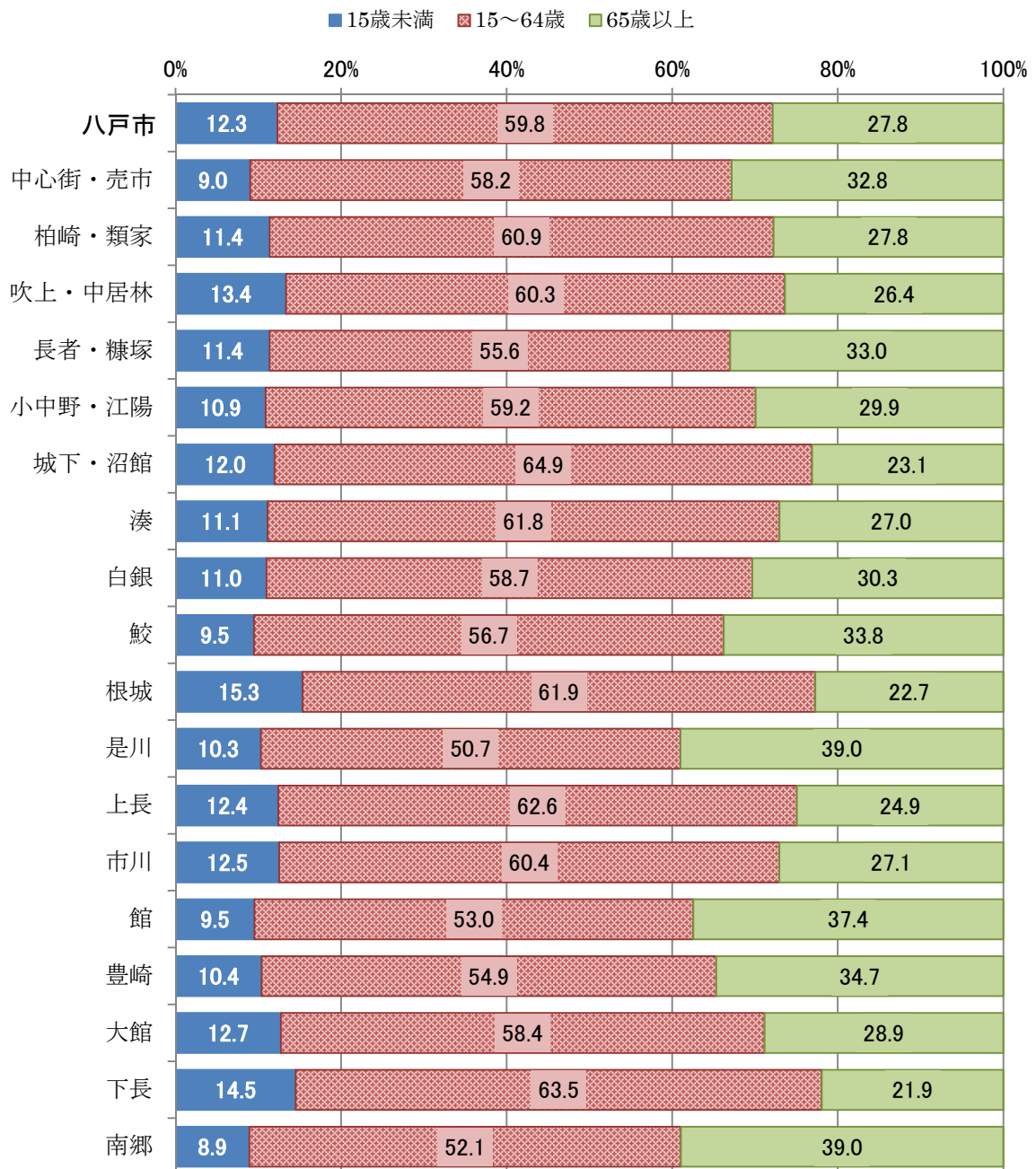
2 年齢3区分別の人口

年齢階級3区分別に構成比をみると、15歳未満人口が低い地区は、南郷地区の8.9%で、次いで中心街・売市地区の9.0%、鮫地区及び館地区の9.5%となっています。

15～64歳人口を地区別に比較すると、是川地区が50.7%と最も低く、次いで南郷地区の52.1%、館地区の53.0%、豊崎地区の54.9%となっています。一方、城下・沼館地区が64.9%と最も高く、次いで下長地区63.5%、上長地区62.7%となっています。

65歳以上人口の構成比を地区別に比較すると、是川地区と南郷地区の39.0%と最も高く、次いで館地区の37.4%、豊崎地区の34.7%の順です。一方、下長地区が21.9%と最も低く、次いで根城地区が22.7%、城下・沼館地区が23.1%となっています。

年齢3区分別就業者数構成比



※年齢「不詳」を除いて算出

地区別・男女別人口

(人)

区分	平成27年			平成22年			増減		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
八戸市	231,257	110,493	120,764	237,615	113,340	124,275	△ 6,358	△ 2,847	△ 3,511
中心街・売市	6,185	2,879	3,306	6,376	2,946	3,430	△ 191	△ 67	△ 124
柏崎・類家	9,682	4,490	5,192	10,053	4,683	5,370	△ 371	△ 193	△ 178
吹上・中居林	16,154	7,585	8,569	15,490	7,228	8,262	664	357	307
長者・糠塚	7,715	3,627	4,088	7,894	3,628	4,266	△ 179	△ 1	△ 178
小中野・江陽	15,245	7,171	8,074	15,914	7,511	8,403	△ 669	△ 340	△ 329
城下・沼館	6,103	2,999	3,104	6,203	3,056	3,147	△ 100	△ 57	△ 43
湊	14,193	6,706	7,487	14,664	6,927	7,737	△ 471	△ 221	△ 250
白銀	27,568	13,173	14,395	29,129	13,861	15,268	△ 1,561	△ 688	△ 873
鮫	9,956	4,685	5,271	10,862	5,123	5,739	△ 906	△ 438	△ 468
根城	30,525	14,571	15,954	29,890	14,294	15,596	635	277	358
是川	5,783	2,701	3,082	6,249	2,931	3,318	△ 466	△ 230	△ 236
上長	8,991	4,321	4,670	8,913	4,261	4,652	78	60	18
市川	12,038	6,137	5,901	12,520	6,318	6,202	△ 482	△ 181	△ 301
館	3,999	1,903	2,096	4,238	2,026	2,212	△ 239	△ 123	△ 116
豊崎	1,608	752	856	1,779	842	937	△ 171	△ 90	△ 81
大館	21,470	10,250	11,220	21,833	10,453	11,380	△ 363	△ 203	△ 160
下長	28,711	14,013	14,698	29,730	14,518	15,212	△ 1,019	△ 505	△ 514
南郷	5,331	2,530	2,801	5,878	2,734	3,144	△ 547	△ 204	△ 343

地区別・年齢3区分別人口

(人)

区分	0～14歳人口			15～64歳人口			65歳以上人口		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
八戸市	28,122	14,433	13,689	136,712	67,816	68,896	63,614	26,596	37,018
中心街・売市	547	290	257	3,526	1,731	1,795	1,990	783	1,207
柏崎・類家	1,077	562	515	5,763	2,754	3,009	2,628	1,050	1,578
吹上・中居林	2,126	1,094	1,032	9,594	4,607	4,987	4,199	1,744	2,455
長者・糠塚	866	469	397	4,238	2,039	2,199	2,513	1,057	1,456
小中野・江陽	1,641	819	822	8,927	4,459	4,468	4,513	1,797	2,716
城下・沼館	717	386	331	3,890	1,970	1,920	1,384	572	812
湊	1,550	810	740	8,611	4,147	4,464	3,765	1,598	2,167
白銀	3,000	1,537	1,463	16,010	7,995	8,015	8,275	3,476	4,799
鮫	937	452	485	5,605	2,826	2,779	3,337	1,368	1,969
根城	4,634	2,380	2,254	18,699	9,205	9,494	6,860	2,800	4,060
是川	593	309	284	2,919	1,419	1,500	2,246	956	1,290
上長	1,098	552	546	5,540	2,777	2,763	2,202	900	1,302
市川	1,496	774	722	7,216	3,938	3,278	3,234	1,368	1,866
館	381	203	178	2,118	1,062	1,056	1,496	637	859
豊崎	167	86	81	882	426	456	557	239	318
大館	2,708	1,374	1,334	12,422	6,153	6,269	6,135	2,613	3,522
下長	4,109	2,094	2,015	17,978	8,889	9,089	6,207	2,775	3,432
南郷	475	242	233	2,774	1,419	1,355	2,073	863	1,210

※年齢「不詳」を除いて算出

V 青森県内3市及び県との比較

1 青森県内3市(八戸市、青森市、弘前市)の比較

(1) 3市の人口

青森県内10市のうち3市の人口は、八戸市231,257人、青森市287,648人、弘前市177,411人で、いずれも平成22年から減少しており、八戸市で6,358人(△2.7%)、青森市で11,872人(△4.0%)、弘前市で6,062人(△3.3%)減少しています。

(2) 3市の人口の推移

平成17年からの10年間の人口推移を比較すると、いずれの市も減少しており、最も減少数が多いのは青森市の23,860人です。

(3) 3市の年齢3区分人口の推移

年齢3区分別の人口の推移を平成17年からの10年間で比較すると、0～14歳の年少人口、15～64歳の生産年齢人口は3市で減少しており、生産年齢人口の減少が最も多いのは青森市で36,479人、減少が最も少ないのは弘前市で15,670人です。

また、65歳以上の老年人口はいずれの市も増加していますが、最も増加しているのは青森市の16,840人です。

3市とも年少人口が減少し、老年人口が増加していることから、少子高齢化がより進んでいることがわかります。

八戸市、青森市、弘前市

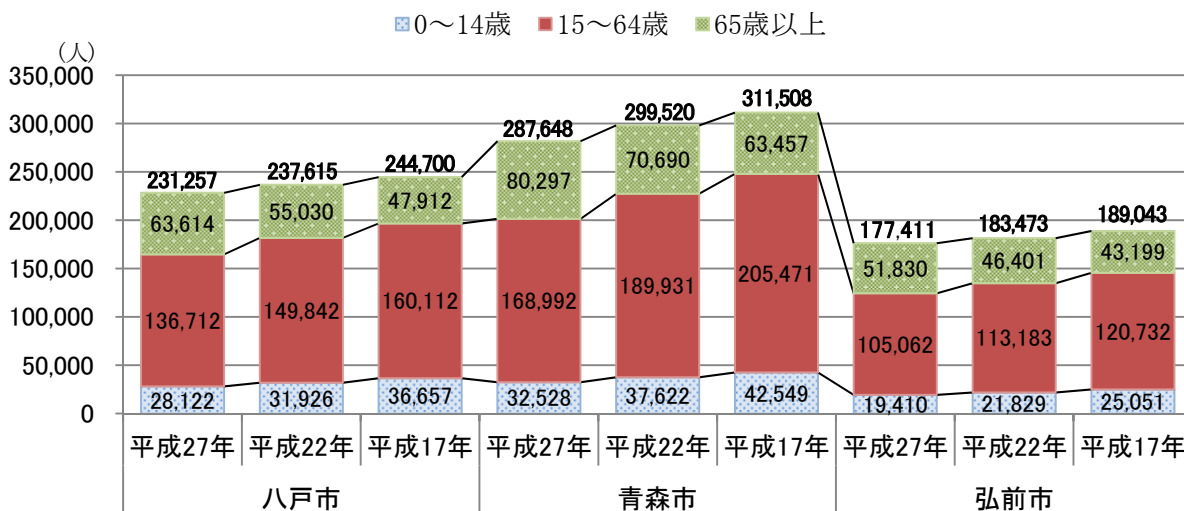
年齢(3区分)	平成27年									八戸市			
	八戸市			青森市			弘前市			総数	男	女	総数
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
総数	231,257	110,493	120,764	287,648	133,560	154,088	177,411	81,367	96,044	237,615	113,340	124,275	299,520
0～14歳	28,122	14,433	13,689	32,528	16,572	15,956	19,410	9,961	9,449	31,926	16,302	15,624	37,622
15～64歳	136,712	67,816	68,896	168,992	81,505	87,487	105,062	50,315	54,747	149,842	73,916	75,926	189,931
65歳以上	63,614	26,596	37,018	80,297	32,265	48,032	51,830	20,483	31,347	55,030	22,684	32,346	70,690
不詳	2,809	1,648	1,161	5,831	3,218	2,613	1,109	608	501	817	438	379	1,277
年少人口指数 2)	20.6	21.3	19.9	19.2	20.3	18.2	18.5	19.8	17.3	21.3	22.1	20.6	19.8
老年人口指数 3)	46.5	39.2	53.7	47.5	39.6	54.9	49.3	40.7	57.3	36.7	30.7	42.6	37.2
老年化指数 4)	226.2	184.3	270.4	246.9	194.7	301.0	267.0	205.6	331.7	172.4	139.1	207.0	187.9

年齢(3区分)	平成27年-平成22年 増減												
	八戸市			青森市			弘前市			八戸市			総数
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
総数	△ 6,358	△ 2,847	△ 3,511	△ 11,872	△ 5,524	△ 6,348	△ 6,062	△ 2,697	△ 3,365	△ 7,085	△ 4,106	△ 2,979	△ 11,988
0～14歳	△ 3,804	△ 1,869	△ 1,935	△ 5,094	△ 2,567	△ 2,527	△ 2,419	△ 1,181	△ 1,238	△ 4,731	△ 2,469	△ 2,262	△ 4,927
15～64歳	△ 13,130	△ 6,100	△ 7,030	△ 20,939	△ 9,739	△ 11,200	△ 8,121	△ 3,442	△ 4,679	△ 10,270	△ 5,045	△ 5,225	△ 15,540
65歳以上	8,584	3,912	4,672	9,607	4,363	5,244	5,429	2,432	2,997	7,118	2,984	4,134	7,233
年齢不詳	1,992	1,210	782	4,554	2,419	2,135	△ 951	△ 506	△ 445	798	424	374	1,246

年齢(3区分)	平成27年 構成比(%) 5)												
	八戸市			青森市			弘前市			八戸市			総数
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数
0～14歳	12.3	13.3	11.4	11.5	12.7	10.5	11.0	12.3	9.9	13.5	14.4	12.6	12.6
15～64歳	59.8	62.3	57.6	60.0	62.5	57.8	59.6	62.3	57.3	63.3	65.5	61.3	63.7
65歳以上	27.8	24.4	31.0	28.5	24.8	31.7	29.4	25.4	32.8	23.2	20.1	26.1	23.7

- 1) 平成17年の数値は、平成27年調査時の市区域に組替えたもの ※弘前市・・・旧弘前市、旧岩木町、旧相馬村
- 2) 生産年齢人口に対する年少人口の比率
- 3) 生産年齢人口に対する老年人口の比率
- 4) 年少人口に対する老年人口の比率
- 5) 年齢「不詳」を除いて算出

青森県内3市の年齢3区分別人口の推移



の人口の推移と増減

平成22年					平成17年(組替) 1)									
青森市		弘前市			八戸市			青森市			弘前市			
男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
139,084	160,436	183,473	84,064	99,409	244,700	117,446	127,254	311,508	145,965	165,543	189,043	86,622	102,421	
19,139	18,483	21,829	11,142	10,687	36,657	18,771	17,886	42,549	21,614	20,935	25,051	12,663	12,388	
91,244	98,687	113,183	53,757	59,426	160,112	78,961	81,151	205,471	99,031	106,440	120,732	56,956	63,776	
27,902	42,788	46,401	18,051	28,350	47,912	19,700	28,212	63,457	25,305	38,152	43,199	16,975	26,224	
799	478	2,060	1,114	946	19	14	5	31	15	16	61	28	33	
21.0	18.7	19.3	20.7	18.0	22.9	23.8	22.0	20.7	21.8	19.7	20.7	22.2	19.4	
30.6	43.4	41.0	33.6	47.7	29.9	24.9	34.8	30.9	25.6	35.8	35.8	29.8	41.1	
145.8	231.5	212.6	162.0	265.3	130.7	104.9	157.7	149.1	117.1	182.2	172.4	134.1	211.7	

平成22年-平成17年 増減					平成27年-平成17年 増減									
青森市		弘前市			八戸市			青森市			弘前市			
男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
△ 6,881	△ 5,107	△ 5,570	△ 2,558	△ 3,012	△ 13,443	△ 6,953	△ 6,490	△ 23,860	△ 12,405	△ 11,455	△ 11,632	△ 5,255	△ 6,377	
△ 2,475	△ 2,452	△ 3,222	△ 1,521	△ 1,701	△ 8,535	△ 4,338	△ 4,197	△ 10,021	△ 5,042	△ 4,979	△ 5,641	△ 2,702	△ 2,939	
△ 7,787	△ 7,753	△ 7,549	△ 3,199	△ 4,350	△ 23,400	△ 11,145	△ 12,255	△ 36,479	△ 17,526	△ 18,953	△ 15,670	△ 6,641	△ 9,029	
2,597	4,636	3,202	1,076	2,126	15,702	6,896	8,806	16,840	6,960	9,880	8,631	3,508	5,123	
784	462	1,999	1,086	913	2,790	1,634	1,156	5,800	3,203	2,597	1,048	580	468	

平成22年 構成比(%) 5)					平成17年 構成比(%) 5)									
青森市		弘前市			八戸市			青森市			弘前市			
男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	
13.8	11.6	12.0	13.4	10.9	15.0	16.0	14.1	13.7	14.8	12.6	13.3	14.6	12.1	
66.0	61.7	62.4	64.8	60.4	65.4	67.2	63.8	66.0	67.9	64.3	63.9	65.8	62.3	
20.2	26.7	25.6	21.8	28.8	19.6	16.8	22.2	20.4	17.3	23.0	22.9	19.6	25.6	

2 青森県との比較

(1) 青森県と3市の人口

平成27年10月1日現在の青森県の人口は1,308,265人であり、3市が県内で占める人口の割合は、それぞれ青森市22.0%、八戸市17.7%、弘前市13.6%で、県全体の53.2%を占めています。

男女別人口をみると、県は男性614,694人、女性693,571人、人口性比は88.6であり、青森市は男性133,560人、女性154,088人、人口性比86.7、弘前市は男性81,367人、女性96,044人、人口性比84.7です。八戸市は男性110,493人、女性120,764人、人口性比91.5と3市で一番高い数値を示しています。

(2) 人口の推移

青森県の人口推移をみると、平成17年からの10年間で128,392人(男性64,383人、女性64,009人)減少しています。

また、3市の10年間の人口減少は、八戸市は13,443人(男性6,953人、女性6,490人)、青森市は23,860人(男性12,405人、女性11,455人)、弘前市は11,632人(男性5,255人、女性6,377人)、3市の減少人数の合計は48,935人(男性24,613人、女性24,322人)であり、県の人口減少の約38.1%を占めています。

(3) 年齢3区分別人口の推移

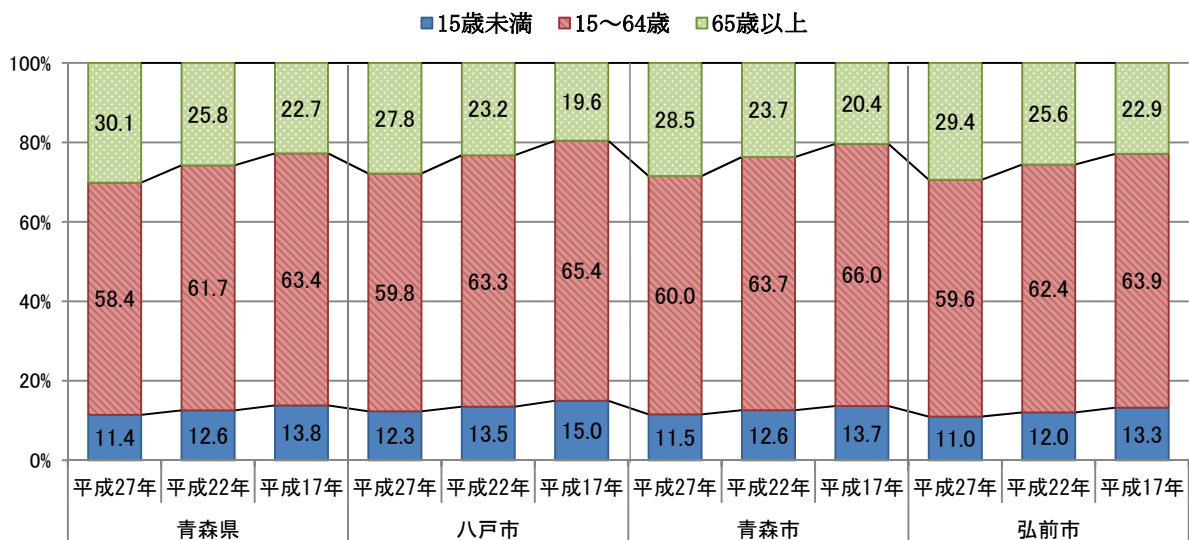
青森県の年齢3区分別の人口の推移をみると、平成17年から10年間に年少人口、生産年齢人口が大きく減少し、老年人口は増加していることから、県全体で少子高齢化が進んでいることが分かります。

男女別に比較すると、年少人口、生産年齢人口は男女の減少数に大きな差はありませんが、老年人口は女性の人口が増加しており、老年人口の女性の占める割合が大きくなってきています。

年少人口指数(生産年齢人口に対する年少人口の割合)を比較すると、青森県の19.6に対し、3市の中で八戸市だけが21.3と県平均を上回っています。

また、老年人口指数(生産年齢人口に対する老年人口の割合)を比較すると、県の51.6に対して八戸市36.7、青森市37.2、弘前市41.0といずれの市も県平均を下回っており、老年化指数(年少人口に対する老年人口の割合)も、県の263.8に対して八戸市が172.4、青森市が187.9、弘前市が212.6といずれも下回っています。

青森県及び県内3市の人口構成比の推移



青森県及び県内3市の人口比較

年齢 (3区分)	平成27年											
	青森県			八戸市			青森市			弘前市		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,308,265	614,694	693,571	231,257	110,493	120,764	287,648	133,560	154,088	177,411	81,367	96,044
0～14歳	148,208	75,661	72,547	28,122	14,433	13,689	32,528	16,572	15,956	19,410	9,961	9,449
15～64歳	757,867	373,796	384,071	136,712	67,816	68,896	168,992	81,505	87,487	105,062	50,315	54,747
65歳以上	390,940	158,837	232,103	63,614	26,596	37,018	80,297	32,265	48,032	51,830	20,483	31,347
年齢不詳	11,250	6,400	4,850	2,809	1,648	1,161	5,831	3,218	2,613	1,109	608	501
構成比(%) 1)												
0～14歳	11.4	12.4	10.5	12.3	13.3	11.4	11.5	12.7	10.5	11.0	12.3	9.9
15～64歳	58.4	61.4	55.8	59.8	62.3	57.6	60.0	62.5	57.8	59.6	62.3	57.3
65歳以上	30.1	26.1	33.7	27.8	24.4	31.0	28.5	24.8	31.7	29.4	25.4	32.8
年少人口指数	19.6	20.2	18.9	20.6	21.3	19.9	19.2	20.3	18.2	18.5	19.8	17.3
老年人口指数	51.6	42.5	60.4	46.5	39.2	53.7	47.5	39.6	54.9	49.3	40.7	57.3
老年化指数	263.8	209.9	319.9	226.2	184.3	270.4	246.9	194.7	301.0	267.0	205.6	331.7

区分	平成22年											
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,373,339	646,141	727,198	237,615	113,340	124,275	299,520	139,084	160,436	183,473	84,064	99,409
0～14歳	171,842	87,585	84,257	31,926	16,302	15,624	37,622	19,139	18,483	21,829	11,142	10,687
15～64歳	843,587	414,888	428,699	149,842	73,916	75,926	189,931	91,244	98,687	113,183	53,757	59,426
65歳以上	352,768	140,636	212,132	55,030	22,684	32,346	70,690	27,902	42,788	46,401	18,051	28,350
年齢不詳	5,142	3,032	2,110	817	438	379	1,277	799	478	2,060	1,114	946
構成比(%) 1)												
0～14歳	12.6	13.6	11.6	13.5	14.4	12.6	12.6	13.8	11.6	12.0	13.4	10.9
15～64歳	61.7	64.5	59.1	63.3	65.5	61.3	63.7	66.0	61.7	62.4	64.8	60.4
65歳以上	25.8	21.9	29.3	23.2	20.1	26.1	23.7	20.2	26.7	25.6	21.8	28.8
年少人口指数	20.4	21.1	19.7	21.3	22.1	20.6	19.8	21.0	18.7	19.3	20.7	18.0
老年人口指数	41.8	33.9	49.5	36.7	30.7	42.6	37.2	30.6	43.4	41.0	33.6	47.7
老年化指数	205.3	160.6	251.8	172.4	139.1	207.0	187.9	145.8	231.5	212.6	162.0	265.3

区分	平成17年(組替) 2)											
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	1,436,657	679,077	757,580	244,700	117,446	127,254	311,508	145,965	165,543	189,043	86,622	102,421
0～14歳	198,959	101,385	97,574	36,657	18,771	17,886	42,549	21,614	20,935	25,051	12,663	12,388
15～64歳	910,856	446,408	464,448	160,112	78,961	81,151	205,471	99,031	106,440	120,732	56,956	63,776
65歳～	326,562	131,072	195,490	47,912	19,700	28,212	63,457	25,305	38,152	43,199	16,975	26,224
年齢不詳	280	212	68	19	14	5	31	15	16	61	28	33
構成比(%) 1)												
0～14歳	13.8	14.9	12.9	15.0	16.0	14.1	13.7	14.8	12.6	13.3	14.6	12.1
15～64歳	63.4	65.7	61.3	65.4	67.2	63.8	66.0	67.8	64.3	63.9	65.8	62.3
65歳以上	22.7	19.3	25.8	19.6	16.8	22.2	20.4	17.3	23.0	22.9	19.6	25.6
年少人口指数	21.8	22.7	21.0	22.9	23.8	22.0	20.7	21.8	19.7	20.7	22.2	19.4
老年人口指数	35.9	29.4	42.1	29.9	24.9	34.8	30.9	25.6	35.8	35.8	29.8	41.1
老年化指数	164.1	129.3	200.4	130.7	104.9	157.7	149.1	117.1	182.2	172.4	134.1	211.7

1) 年齢「不詳」を除いて算出

2) 平成17年の数値は、平成27年調査時の市区域に組替えたもの ※弘前市・・・旧弘前市、旧岩木町、旧相馬村

青森県の人口増減

年齢 (3区分)	平成27年-平成22年			平成22年-平成17年			平成27年-平成17年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数 1)	△ 65,074	△ 31,447	△ 33,627	△ 63,318	△ 32,936	△ 30,382	△ 128,392	△ 64,383	△ 64,009
0～14歳	△ 23,634	△ 11,924	△ 11,710	△ 27,117	△ 13,800	△ 13,317	△ 50,751	△ 25,724	△ 25,027
15～64歳	△ 85,720	△ 41,092	△ 44,628	△ 67,269	△ 31,520	△ 35,749	△ 152,989	△ 72,612	△ 80,377
65歳以上	38,172	18,201	19,971	26,206	9,564	16,642	64,378	27,765	36,613

1) 年齢「不詳」を含む

※年少人口指数(生産年齢人口に対する年少人口の比率) = 年少人口/生産年齢人口×100

※老年人口指数(生産年齢人口に対する老年人口の比率) = 老年人口/生産年齢人口×100

※老年化指数(年少人口に対する老年人口の比率) = 老年人口/年少人口×100

VI 従業地・通学地別人口

(1) 昼夜間人口の比較

昼夜間人口比率(夜間人口 100 人当たりの昼間人口の比率)をみると、青森県内 3 市の中では、弘前市が 107.2 と最も高く、次いで八戸市の 104.6、青森市の 101.5 となっています。

また、当市の近隣市町村では、階上町の 75.5 が最も低く、次いで南部町の 84.6、おいらせ町の 84.8、岩手県洋野町の 85.7、六戸町の 86.6、五戸町の 90.3、新郷村の 93.3、岩手県軽米町の 93.5、田子町の 97.8、三戸町の 98.6 となっており、夜間人口が昼間人口を上回っています。

青森県内 3 市と近隣市町村の昼夜間人口

地域	夜間人口 1)		昼間人口 1) 2)		昼夜間人口比率	
	平成27年	平成22年	平成27年	平成22年	平成27年	平成22年
青森県	1,308,265	1,373,339	1,306,283	1,374,008	99.8	100
青森市	287,648	299,520	291,843	304,698	101.5	101.7
弘前市	177,411	183,473	190,230	195,642	107.2	106.6
八戸市	231,257	237,615	241,823	249,778	104.6	105.1
六戸町	10,423	10,241	9,028	9,235	86.6	90.2
おいらせ町	24,222	24,211	20,551	20,992	84.8	86.7
三戸町	10,135	11,299	9,993	11,294	98.6	100.0
五戸町	17,433	18,712	15,745	16,902	90.3	90.3
田子町	5,554	6,175	5,432	6,069	97.8	98.3
南部町	18,312	19,853	15,501	16,926	84.6	85.3
階上町	14,025	14,699	10,593	10,749	75.5	73.1
新郷村	2,509	2,851	2,341	2,615	93.3	91.7
岩手県軽米町	9,333	10,209	8,722	9,766	93.5	95.7
岩手県洋野町	16,693	17,913	14,303	15,636	85.7	87.3

1) 労働力状態「不詳」を含む。

2) 従業地・通学地「不詳」で、当地に常住している者を含む。

※昼間人口 = 夜間人口(常住人口) - 他の地域へ通勤・通学している者 + 他の地域から通勤・通学している者

(2) 従業・通学による他市町村との流出入状況

当市から他市町村への流出状況をみると、流出人数は、おいらせ町への 1,429 人が最も多く、次いで階上町への 1,143 人、五戸町への 1,029 人となっています。

一方、他市町村から当市への流入状況は、昼夜間人口比率が最も低かった階上町からが、4,355 人と最も多く、次いで南部町の 2,924 人、おいらせ町の 2,882 人となっています。

また、岩手県北地方の洋野町、軽米町、久慈市、二戸市が、流出入共に上位に入っており、当市と岩手県北地方との人的・経済的なつながりが分かります。

従業・通学による流出入状況(上位 15 市町村)

他市町村へ流出 (常住地:八戸市)		他市町村から流入 (常住地:他市町村)	
市町村名	人数	市町村名	人数
おいらせ町	1,429	階上町	4,355
階上町	1,143	南部町	2,924
五戸町	1,029	おいらせ町	2,882
南部町	995	五戸町	2,541
三沢市	858	三沢市	1,282
十和田市	638	十和田市	1,265
青森市	447	岩手県洋野町	1,257
六ヶ所村	311	三戸町	545
三戸町	238	六戸町	498
岩手県盛岡市	235	青森市	435
岩手県洋野町	210	岩手県軽米町	420
岩手県軽米町	159	岩手県久慈市	266
六戸町	145	東北町	255
岩手県二戸市	114	岩手県二戸市	175
岩手県久慈市	97	七戸町	159